

ストップ!六甲病院移転

灘区 病院を まもって



神戸市は
代わりの病院を
誘致して



近くだから
通院もお見舞いも
行きやすかった

桜ヶ丘住宅の
跡地を利用
したらいいのに

4年前に
民間病院に代わった
ばかりなのに



六甲病院の東灘区深江地区への移転
が発表され、灘区のみなさんから心配
の声があがっています。

味口としゆき市会議員は、神戸市
議会本会議で、灘区のみなさんの声
を紹介し、「灘区の地域医療を守る」よ
う求めました。

詳しくは、市会の
動画をご覧ください。





決算特別委員会・行財政局で質疑(9月10日)

松本のり子

神戸市会議員

長引く物価高騰のもとで東灘のみなさんの暮らし、お商売は大変です。高市政権の「総合経済政策」は消費税減税には背を向け、最低賃金1,500円目標も取り下げると、国民の暮らしを守る柱はありません。

今こそ、教育費完全無料、国保・介護保険料の減免、水道料金やバス料金の値下げなど、市民の暮らしを応援する独自支援をすべきです。

議会レポート

三宮駅前歩行者デッキ 整備に150億円

市民生活を最優先に

三宮の新バスターミナル周辺デッキ整備で、債務負担行為の限度額を17億7,000万円から41億円に2倍以上に引き上げました。本会議や委員会質疑で、331mと全国一長いデッ



三宮デッキ地図(神戸市資料より)

キ工事で、通行を確保しながら限られたスペースにヤードを設置する等の工が必要になり、6月入札不調となったことが一番の理由です。

しかし長いデッキであることや、通行を確保しながらの工事になることは当初からわかっていました。また、市は1階の歩行者道路も今より幅を広くし、バスターミナル予定の場所の西にビジネスホテルがありますが、そのあたりから2階に上がる階段をつくります。これらを考えると331mもののデッキは不要ではないかと質問を行いました。

不要不急の三宮巨大開発に乗じたデッキ工事は見直し、物価高騰で苦しむ市民の暮らしを応援すべきです。



整備後のイメージ図(神戸市資料より)

バス路線を守り、廃止・減便ストップ!

2024年に長田区・兵庫区、2025年は灘区・東灘区、2026年に須磨区と毎年大幅に市バスの廃止・減便が行われています。理由として人口減少で利用客の減で経営状況が厳しいことをあげ、今後はあらゆる改革に取り組んでいくとしています。減便については鉄道に結び街の中を走っているバス路線を効果的に走らせるための見直し(廃止・減便)などと説明しています。今後、5年かけて市内の路線バスについて民間事業者と運行を連携して役割分担の在り方などを考えると委員会での答弁です。

松本議員はバスを民間に移譲すれば儲からない路線はど

んどん廃止されてしまうと指摘。「市民の足を守る」使命が神戸市交通局にはあります。今年、東灘区の路線の廃止・減便の効果はわずか4,000万円です。ウォーターフロントや神戸空港国際化など無駄な事業への税金投入をやめて、市民の足を守るための市バスに一般会計から交通局へ投入することを強く求めました。



市バス37系統減便についての議会陳情

乳がん患者へ入浴着の助成を

市内入浴施設で乳がん手術痕を隠す入浴着を着用した人と他の入浴者とのトラブルが起きた件で、健康局で日本共産党の議員が質問しました。健康局は「入浴施設に厚労省の啓発ポスターを配布し掲示をすすめる。助成は考えていないが、乳がん患者会の意見も踏まえて検討したい」と答弁。

現在、国はウィッグや補正下着の助成をしていますが、入浴着への助成はありません。入浴施設のタオルなどの横に入浴着があればトラブルもなくなるのではないかと思います。また、乳が

ん患者にとっても「安心して入浴できる」ことにつながります。引き続き要望していきます。



入浴施設に掲示されているポスター

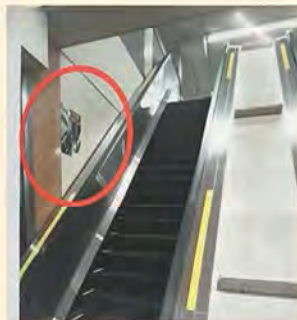
患者さんからの手紙

術後5年から10年、治療を続けるのに日々ストレスに耐えないといけません。しかし、多くの乳がん患者は入浴施設の利用を躊躇しています。手術でできた傷跡が目立つため、入浴着を着けると一般の利用者から注意されたり、無言で責められるように感じるからです。「乳がん患者に入浴着が必要」とぜひ徹底してください。

受験期 痴漢対策を求める

教育委員会と交通局、阪急電鉄に、5度目となる申し入れを行いました。

交通局には共通テスト当日はじめ受験期の特別対策などとともに今回、盗撮防止に広角ミラー設置を新たに申し



広角ミラー

入れ。市交通局は乗降客の多い地下鉄三宮駅エスカレーターへの設置を約束しました。

市教委には、▽包括的性教育導入、まず教員など学校関係者全員に実施、▽「レイプ神話」などの偏見をなくすとりくみなど5点を申し入れしました。市教委は毎年、全教職員に生徒への性加害行為について研修を行い、生徒も性の多様性や相手の気持ちを考えて行動すること、子どもの権利条約についても学んでいること



阪急電鉄に申し入れる松本議員(右)

を紹介しました。

「痴漢は犯罪」であり、「遭ったら見たら110番通報」を性別問わず伝えるよう再度要望しました。

県は信号機設置の予算くらい増やしてください

深江駅南側、大日神社西側にある信号機のひさしが外れかけており危ないと住民の方から連絡がありました。東灘警察に直してほしいと言うと、「信号機が古い型のため直せない。LEDの新型信号機は高いので取り替えることができるかどうか分からない。厳しい予算のため応急処置でひさしの部分を外した」との返答でした。落下の不安は解消されましたが、信号機を取り替えるぐらいの市民生活を守る予算はしっかりつけてほしいものです。



松本のり子までご相談ください ▶

©日本共産党神戸市会議員団 神戸市中央区加納町 6-5-1

神戸市議会内 ☎ 078-322-5847

WEBサイト <http://www.jcp-kobe.com/>

市会議員期末手当引き上げに反対

市民への負担増のもとで許されない

自民党、公明党、こうべ未来等の各会派から議員の期末手当の引き上げが提案されました。自民党による企業団体献金を原資とする裏金問題は、国民の強い怒りとなり、衆院総選挙に続き、参議院選挙でも自民、公明政権の過半数割れという厳しい審判が下されました。さらに、自民・維新の新政権でも「政治とカネ」に絡む不正疑惑が後を絶たず政治への強い不信を招いています。また神戸市では、市民から物価高騰対策や賃上げ支援が求められていますが、何ら対策が示されていません。市民の切実な声を置き去りにしながら、議員の期末手当の引き上げなど論外です。日本共産党は議案に反対しました。

運南地域 住吉橋のバリアフリー化を

兵庫運河にかかる住吉橋は、大きな太鼓橋で兵庫区の北部や中部と運南地域を結ぶ主要な道路です。

横に北側歩道橋、南側歩道橋、螺旋状のスロープがあり、通勤や通学、買い物などで多くの方が利用されていますが、勾配率10%。ベビーカーや車いすを押して登るのは一苦勞。



地域からは、バリアフリー化の要望が長年あがっています。急勾配のため事故も起きやすく、12月2日には、住吉橋を降りてきた右折車両と、後続車の追突事故もありました。

建設からすでに57年が経過しており、安全性の面からも橋の架け替えが必要です。引き続き求めています。



新しい年を迎え、気持ちを新たにしています

道路の補修が完成しました

地域の方から「買い物でいつも通る道に溝が掘れて困っている」との声をいただきました。買い物カートの車輪がはまり込み通りにくいとのことでした。早速中部建設に連絡し、先日補修が完成しました。

他にも補修が必要なところはたくさんあるのですが、予算の都合で優先順位を決めてとのこと。三宮巨大開発には数千億単位の予算が湯水のように使われていますが、地域の道路補修や橋架け替えなどは限られた予算。お金の使い方、おかしくないですか？ 市民の暮らしや安全にかかわるものほど優先順位が高いと思うのですが。新年度予算議会でも質していきます。



物価高から暮らしを守る 市政へ転換を



長引く物価高騰で暮らしは大変です。ところが神戸市は何ら対策を示してきませんでした。昨年度より1,000億円も増やした予算も、三宮の巨大開発や拠点駅前の再開発などへ偏重。一方で、市民には水道料金・市バス運賃の値上げ、介護保険料の引き上げなど受益者負担を押し付けています。

市長選挙で示された市民が求める政策は、一番目に「物価高対策」、二番目に「子育て支援」でした。神戸市として、市内雇用の正規化と中小事業者の賃上げ支援や市民の生活支援、子育て教育の負担軽減など迅速な

取り組みが求められています。

皆さんからお聞きした声をもとに作り上げた925項目にわたる2026年度予算要望。市長へと提出しました。



予算要望を提出する大かわら議員(右から3人目)

市バス路線・便数の復活を



神戸市は、兵庫区・長田区のバス路線廃止・便数の大幅削減後も、灘区・東灘区、今年は須磨区と次々と強行し市民に負担と不便を強いています。

兵庫区からは、改善を求める声等が800件以上交通局に届いており、神戸市はこの声に応えるべきです。地域では、市バス路線・便数の復活を求める署名も取り組まれています。議会でも引き続き求めています。



交通局で質疑する大かわら議員

神戸市議団

322-5847

日本共産党兵庫区事務所

577-7987

神戸市会議員

大かわら鈴子

日本共産党
神戸市会報告
兵庫区版 2026年 春号

発行/日本共産党神戸市会議員団 神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市議会内 TEL 322-5847 FAX 322-6165

日本共産党神戸市議団 検索



給食費無償化早期実施を

これまで皆さんとの運動で中学校給食が実現、さらに冷たい業者弁当から温かい食缶方式へ。いよいよ、この1月から全市で温かい中学校給食が実現しました。引き続き自校方式めざして頑張ります。

また同時に求めてきた学校給食の無償化。国の補正予算成立を受けて臨時議会を開催。4月から無償化実施予定ですが、小学校だけにとどまらず中学校も同時に行うべきです。



教育委員会で質疑する
大かわら議員

コベカツ

子どもの権利を保障し 教育的意義を担保した活動に

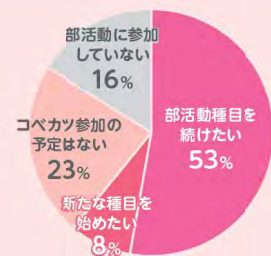
神戸市では、中学校の部活動を2026年9月に地域移行するとして取り組みが進められています。しかし受け皿団体がまだまだ不足しており、このままでは種目がかなり減少しかねません。子どもたちの「今の活動を継続したい」の声に応え活動の保証をすべきです。また費用負担についても各クラブの会費(運営費や人件費等)が必要となりますが、平均で3,200円程度、0円～9,100円と幅が出ています。経済的

状況で子どもたちが希望する活動ができないなどあってはなりません。

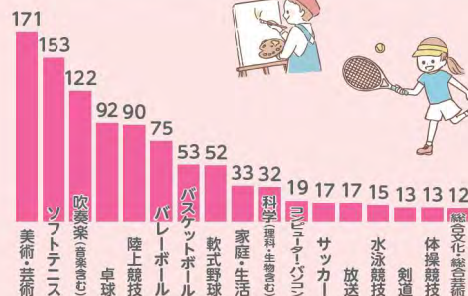
また活動場所もこのままでは、校区外の離れた場所まで通わなければならない状況も危惧されます。子どもたち、保護者、受け皿団体、教員等関係者の声を丁寧に聞き、課題解決していくことが求められています。

様々な問題を積み残したまま期限ありきでの見切り発車はやめるべきです。

部活動種目の継続希望の有無 (対象: 中学1年生)



部活動種目を継続したいが通える範囲に 部活がない件数 ※全市で10件以上のみ抜粋



(教育委員会アンケートから)

安心して子育てできる環境整備を

神戸市は、保育所の子どもの受け入れ枠を縮小。切迫流産で、緊急に保育所入所が必要になっても受け入れができないなどの事例が出ています。また入所枠がないためきょうだいで違う保育所に通っている児童も多数います。地域のニーズを把握し、緊急の事態でも対応できる体制が必要です。

保育所、児童発達支援センター、こども家庭センターでの人員不足は深刻です。正規の人員を増やして安心の子育て環境へ改善するため、保育革新懇の皆さんとともに要望書を提出しました。



子ども家庭局と懇談



要望書を提出する大かわら議員

地域の教育環境の充実を

神戸祇園小学校は、開校当初から敷地面積が狭く、運動場の狭さが問題となり、地域の公園を移転して拡張しましたが、それでも文科省の定める基準以下です。ところが神戸市は旧平野小学校跡地の一部を売却し、10階建て147戸のマンション建設を進めようとしています。

この地域は、今後住宅供給が続けば、学校施設が不足する「受入困難地区」になることが懸念されています。

子どもたちの良好な教育環境を守るためにも、行政が住宅建設を規制すべきです。

一方、運南地域では、児童数の減少を理由に和田岬小学校、浜山小学校、吉田中学校が統廃合の対象に挙がっています。

学校は地域のコミュニティの拠点であり、統廃合された地域では「活気がなくな

った」「避難所が遠くなった」などの声も出ています。コロナ禍の経験からも、少人数学級の重要性が再認識されています。統廃合で学校を減らすのではなく、子育て世帯の呼び込み策を強化すべきです。街づくりの観点から地域の偏在解消をめざす取り組みが求められています。



マンションイメージパース(神戸市資料より)

ストップ!六甲病院移転



東灘・御影の 病院を まもって



4年前(2021年)

公的病院(国家公務員共済組合)から民間病院(医療法人若葉会)への事業継承にたいして、地域住民から「**地域医療を守って**」と、16000人の署名が寄せられました。

若葉会

「今のところ建て替えは考えていない」
「駐車場を活用して細長い高い建物をたてて移すことなどは考えられる」
「安全で持続可能な医療の提供」「住民に求められる医療の提供」「地域医療支援」と約束。

(神戸市・保健医療審議会医療専門分科会)

ところが…

2025年6月

「医療法人若葉会 六甲病院移転説明資料」

「急傾斜地に面しており、建築の難易度が非常に高い」
「余剰な土地がなかった」と東灘区深江地域(本庄町)への移転を神戸市に説明

神戸市は…

「病院の設置場所は、病院自らが確保・決定するもの」「東灘と灘と中央区の一部を神戸市の東部地域としているので、役割は変わらない」と、**移転を容認姿勢**。

御影地域の住民の声

地域の病院が
なくなると、**困る!**



神戸市は
代わりの病院を
誘致して



近くだから
通院もお見舞いも
行きやすかった

4年前に
民間病院に代わった
ばかりなのに



桜ヶ丘住宅の
跡地を利用
したらいいのに

神戸市は、 地域医療に 責任を!

日本共産党神戸市議員団は、「病院が遠方に移転することで、近隣の高齢患者の通院や入院のお見舞い、提携する老人ホームの受け入れ先に支障が生じるのではないか」という懸念の声を伝え、「医療を守る立場で動くべき」神戸市は、「積極的な態度で六甲病院の移転問題に対応すべきだ」と、地域医療を守ろうことを求めています。

詳しくは、市会の
動画をご覧ください。



日本共産党

神戸市会報告
www.jcp-kobe.com

2026年号外

発行/日本共産党神戸市議員団 神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市議会内
TEL078-322-5847 FAX078-322-6165

西たす市議は地域の医療機関の存続を求める署名にも取り組んできました。



神戸市長
久元喜造 殿

六甲病院の 移転中止を求める署名



【陳情の趣旨】

六甲病院は2021年(令和3年)国家公務員共済組合連合会から医療法人若葉会へ事業継承されました。その際、医療法人若葉会は、神戸市に、「安全で持続可能な医療・住民に求められる医療の提供、地域医療支援を事業継承された後も果たしていく」と述べていました。しかし、今回この約束を反故にして、たった4年で、2029年に東灘区深江地域へ移転しようとしています。これに対して、東灘区の6つの病院は、六甲病院が灘区においておこなってきたこれまでの医療や介護の提供がなくなることへの地域への影響も検討すべきとの意見を表明しました。しかし、神戸市はこの移転に対して、「病院の設置場所は、病院自らが確保、決定するもの」と民間任せにしています。六甲病院は近隣住民一特に高齢者も多く利用しており、東灘区(深江地域)へ移転したら通院できなくなると不安の声が多く上がっています。私たちは、地域の医療をまもるため、神戸市が医療法人若葉会に対し、六甲病院の東灘区への移転を中止するよう強く働きかけをおこなうことを求めます。

「ストップ!六甲病院移転」の会



陳情事項

①

地域医療をまもり、住民に安全で持続可能な医療の提供を続けるため、神戸市は医療法人若葉会に対し、六甲病院の東灘区(深江地域)への移転を中止するよう強く働きかけをおこなうこと。

名前	住所

この署名は神戸市に提出します。それ以外の目的には使用しません。

【取扱団体】日本共産党神戸市会議員団

〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市議会内
※郵送で送っていただける方はお手数ですが、上記の宛先までお願い致します。

希望あふれる 2026年に

12月9日、市会本会議で前田あきら議員、赤田かつのり議員が一般質問を行いました。

高市自民・維新政権の総合経済対策に基づく2025年度補正予算案は、消費税減税を拒否し、「最低賃金時給1500円」目標さえ取り下げると物価高から暮らしを守る柱がありません。

日本共産党神戸市会議員団は、長引く物価高騰から市民のくらし・営業を応援するため緊急に補正予算による神戸市の独自支援や、学校給食無償化の前倒し実施、市民生活に広く影響が懸念されるバス路線廃止・減便の撤回などを求めました。



12月9日 一般質問
須磨区バス路線廃止撤回を求める
前田あきら 議員



12月9日 一般質問
JR垂水駅のバリアフリー化を求める
赤田かつのり 議員

物価高騰に みあった 賃金アップを



地元の中小業者からは「家族のような従業員。給料上げたいけど、仕入れ値もあがっている。売値に転嫁できない」と悲鳴があがっています。

市内中小企業が物価高騰に苦しみ中、思い切った賃上げに踏み出せず、市民の実質賃金は下がり続けています。日本共産党神戸市会議員団は、物価高騰を超える賃金引上げの実現のために、神戸市独自の支援策を求めています。

他の政令市で
独自の賃上げ支援金が
はじまっています

- 仙台市 ● 川崎市
- 浜松市 ● 北九州市

高校卒業まで 教育費完全無料 の神戸に



こんなにある
「隠れ教育費」

- 小学6年生
年間約9万円
- 中学1年生
年間約11万円

高市自民・維新政権がすすめる「子育て応援手当」子ども1人当たり2万円支給は18歳までと極めて限定的です。子育て世代からも「部活もコベカツになって学校にかかるお金が心配」と声があがっています。

日本共産党神戸市会議員団は、小・中学校給食の無償化、学校指定の制服やかばん・体操服の購入費や、修学旅行費・学用品など「隠れ教育費」の負担を軽減し、一時的ではなく継続した子育て支援を求めています。

市民の足、バス路線の 廃止・減便の中止を

神戸市が須磨区の路線再編(案)を公表(右)。24年の兵庫・長田、25年の東灘・灘に続く3年連続の大幅減便・廃止です。バスや鉄道への乗り継ぎで市民に負担と不便を強いるもので、廃止された路線の復活要望も出ています。

日本共産党神戸市会議員団は、物価高騰や運転手不足の解決へ神戸市の財政支援で、バス路線の充実を求めています。

自民・維新・公明・立憲・国民などは、交通局予算に賛成するばかりか「スピードを上げて頂きたい」(木戸さだかず議員・12/9)などと減便をけしかけています。

廃止減便ストップ! バス路線の充実へ

前田あきら市会議員が、市民集会で報告を行います。
○1月11日(日)10時～ ○神戸市立総合福祉センター
第5会議室(湊川神社西側)

須磨区15路線で3割減 150本以上の減便



高倉台周辺エリア
北須磨団地・一の谷含む

281本	→	220本程度
71系統 廃止	→	新72系統
72系統 減便	→	新75系統
75系統 減便	→	新74系統
74系統 減便(朝のみ)	→	新88系統
88系統 統合	→	
89系統	→	

東白川台エリア
若草・清水台含む

81本	→	70本程度
79系統 統合・減便	→	新79系統
84系統	→	

鷹取駅周辺エリア
高尾台含む

188本	→	100本程度
80系統 短絡	→	新80系統
区75系統 廃止	→	
13系統 短絡	→	
110系統 短絡	→	
112系統 短絡	→	
10系統 廃止	→	新81系統
81系統 減便	→	

2月 利用者に周知
8月 実施予定

地域医療を まもって



北区では、済生会兵庫県病院と三田市民病院の統合により、長尾町宅原に三田新病院の建設がすすめられています。灘区では、六甲病院が東灘区・深江地域に移転する計画が発表されました。地域の病院の移転にたいし、「近くだから通院もお見舞いも行きやすかった」「神戸市は地域の医療をまもって」の声が市民からあがっています。

日本共産党神戸市会議員団は、神戸市は地域医療に責任をもち、病院統廃合や移転中止を求めるべきと指摘しました。



11月27日 本会議で質疑する
朝倉えつ子 議員



12月2日 福祉環境委員会で質問する
味口としゆき 議員

市民の願いが詰まった 予算要望書を提出

日本共産党神戸市会議員団は、927項目にわたる予算要望書を神戸市に提出しました。森本真団長は「市民から寄せられた願いが詰まった要望書です。来年度予算で実現を」と求めました。



議員期末手当の 引上げに反対

12月議会では、自民・公明・立憲・国民の各議員の提案で、議員の期末手当を5万5800円引き上げました。日本共産党神戸市会議員団は反対討論をおこない「政府の賃上げ政策も後退するもと、議員だけが自らの給与や期末手当を引き上げることに、市民の理解を得られない」と批判しました。



12月5日 反対討論をおこなう
西ただす 議員

“困った”に寄り添います

なんでも気軽にご相談ください



9月10日 行財政局審査で質問する
松本のり子 議員
東灘区選出 ☎ 414-8875

核兵器廃絶へ、
神戸市として
平和をすすめる
行政の推進を



9月19日 交通局審査で質問する
西ただす 議員
東灘区選出 ☎ 414-8875

市バス減便反対
民間バスにも
敬老福祉バス
適用を



10月10日 本会議で質問する
味口としゆき 議員
灘区選出 ☎ 881-2581

みんなが憩える
王子公園の
存続を



9月18日 教育委員会審査で質問する
大かわら鈴子 議員
兵庫区選出 ☎ 577-7987

子どもの
権利を保障し
教育的意義を
担保した活動に
コベカツ



9月11日 企画調整局審査で質問する
森本 真 議員
長田区選出 ☎ 642-1466

震災の記憶や
教訓を
未来に継承する
取り組みを



9月10日 福祉局審査で質問する
朝倉えつ子 議員
北区選出 ☎ 591-4755

いのちのとりで訴訟の
原告勝利、削減された
生活保護基準
を戻せ



10月21日 機尾住宅のみなさんと
建築住宅局に要望する
前田あきら 議員
須磨区選出 ☎ 732-6578

エレベータ設置・
改修で
入居継続の
実現を
市営住宅



9月17日 こども家庭局審査で質問する
赤田かつのり 議員
垂水区選出 ☎ 753-5287

子どもたちの
成長を保障し、
安心・安全な
保育環境に



9月11日 経済観光局審査で質問する
森田たき子 議員
西区選出 ☎ 919-6650

高温・渇水対策
実態見て
被害農家に
直接支援を！

賃上げ支援

教育子育ての
負担軽減物価高から
くらしを守る

神戸市会議員

前田あきら

長引く物価高騰のもとで、須磨区のみなさんの暮らし・お商売は本当に大変です。

高市政権の「総合経済対策」は、消費税減税や最低賃金1500円目標も取り下げると、物価高騰から暮らしを守る柱はありません。

12月9日の本会議で、各種事業者への賃上げ支援や光熱費等高騰補助、学校給食無償化をはじめ教育費の負担軽減の実施へ、補正予算の編成を強く求めました。

久元市長も、12月25日に臨時議会で「学校給食の価格高騰分への公費助成」や「社会福祉法人等の光熱費高騰分への補助」の実施を表明しました。くらしを守る抜本策をさらに求めています。

神戸市の決断次第でできる
賃上げ支援策

昨年の市長選で重視された1位が「物価高対策」、2位が「子育て支援」でした(サンテレビ調査)。再選された市長も「多くの市民が、物価の高騰に苦しんでおられる」「(賃上げなど)やれる対策を提示できず申し訳なく思っています」と語っています。

各地の自治体で始まった「賃上げする中小事業者を後押しする支援金」は、働く人には賃上げの即効性があり、事業者も簡単に申請ができます。神戸でもできることは、すぐに実施すべきです。



岩手県 時給60円以上賃上げの場合 6万円/人

山形県 女性雇用者を正規化した場合 10万円/人

この他、仙台、川崎、浜松、北九州市でも実施

隠れ教育費
にメスを

前田あきらの提案 須磨区版

修学旅行費、行事費、ドリル・テスト等の
学校徴収金の無償化を

物価高騰は、修学旅行や学校行事などへの教育への影響も広がり、子育て世帯の家計を圧迫しています。学校徴収金の負担は小学校6年生で年約9万円、中学1年生で約11万円。学校給食をふくめ「義務教育は無償(憲法26条2項)」が本来の姿です。国がやらないなら地方から学校徴収金の無償化を広げ、教育費ゼロの神戸を目指しましょう。



修学旅行費の無償化 東京都葛飾区、荒川区、足立区など

+学校徴収金の無償化 大阪府豊中市、東京都品川区など

制服の無償化 北海道北斗市、東京都品川区、奈良県香芝市など

学校給食無償化

👍 ついに実現!

今年新学期から小学校で開始



前田あきら市会議員は、学校給食の無償化へ、神戸の中学校給食を実現する会のみなさんと署名を集め、2024年に神戸市議会(教育子ども委員会)で「神戸市独自で無償化」を求める陳情の採択にこぎつけました。

12月9日の本会議で、国待ちにならず臨時議会を開催して、給食の質を落とさず無償化の早期実施を要望。教育長は「4月からまずは小学校給食の無償化にとりくむ」と答弁。久元市長も年末に臨時議会を招集し「給食の質維持へ物価高騰分の公費助成」を実施することを表明しました。

中学校給食の早期無償化とともに、アレルギー、不登校などの児童生徒へ学校給食費相当額の支援金の創設を求めています。



補正予算

物価高対策
実施へ

保育・福祉施設へ光熱費補助

高齢者施設、障害者施設、保育施設等に対する光熱費・食費等の高騰による利用者負担の増加を抑制するため、一時支援金を支給。 計9億円

公費負担で学校給食の質を維持

食材費の高騰分を公費負担で、保護者から給食費を追加徴収することなく、栄養バランスのとれた学校給食を提供(小学校無償化含む)。 計53億円

15路線で3割減便の バス路線再編(案)

利用者の声をとどけて 撤回・見直しさせよう!



神戸市は須磨区の市バス15路線を7路線へと廃止・減便する計画を8月に実施しようとしています。これによりバスや鉄道への乗り継ぎが増えて利用者の負担や不便が拡大するとともに、路線統合で混雑が深刻化して、ベビーカー利用の親子や高齢者・障がい者など乗車できない事態が起こります。

前田あきら市会議員は、12月議会で、バス路線の減便が通院や買い物の移動手段を奪い、人口減少を加速させると指摘し、撤回を求めました。城南交通局長は「これから、地元や利用者の意見を聞き、必要なら見直したい」と答弁しました。利用者の声を届けて、路線再編を撤回・見直しさせましょう。

須磨区15路線で3割減 150本以上の減便

2月 利用者に周知
8月 実施予定

東白川台エリア 若草・清水台含む

81本 → 70本程度
79系統 84系統 統合・減便 → 新79系統

高倉台周辺エリア 北須磨団地・一の谷含む

281本 → 220本程度
71系統 廃止
72系統 減便 → 新72系統
75系統 減便 → 新75系統
74系統 減便 → 新74系統(朝のみ)
88系統 89系統 統合 → 新88系統

鷹取駅周辺エリア 高尾台含む

188本 → 100本程度
80系統 短絡
区75系統 廃止
13系統 短絡 → 新80系統
110系統 短絡
112系統 短絡
10系統 廃止
81系統 減便 → 新81系統

減便と乗客減の 悪循環を防ぐために

地域経済や福祉に貢献する公共交通に財政支援を

公共交通は、地域経済と暮らしを支える都市基盤の一部。市バスだけ切り取って「独立採算」で減便や値上げをすれば、乗客減を誘発させ、悪循環で地域が廃れる一方です。

須磨区の再編効果は1億円程度。燃油高や運転手不足で困難な時こそ、神戸市が財政支援(※)をすべきです。

※仙台市 原油価格高騰の影響を受ける公共交通事業者に対し、市民の移動手段である公共交通の運行継続のため12月に1億368万円の支援を決めています



あなたの声を聴かせてください

アンケート



路線再編
(詳細)



住み続けられる須磨区へ

前田あきら市会議員は
住民と力をあわせます

スーパー撤退から くらしを守る



スーパーが撤退する高倉台近隣センターで、代替の商業店舗や移動販売車の誘致を求め住民の願いを須磨区役所に要望(7月)

市営住宅は 改修で存続を



エレベータを設置して今の部屋で継続入居したいとの思いが多く寄せられた横尾住宅のみなさんと一緒に建築住宅局に要望(11月)

こどもたちの声を、 政治に届けます!



前田あきら市会議員は、中学生の願いを12月議会で紹介し対策を求めました「コベカツ移行で、須磨区全11校にあった種目が、ソフトテニス5校、吹奏楽3校、美術がゼロになる。拙速な部活廃止をやめて継続を検討すべきです」

※議会質問への答弁は、趣旨を変えない範囲で子ども向けにしています。

Q.

続けたい部活種目が
コベカツにないです。
今の部活を継続してほしい。
(中学1年生)



A.

福本靖教育長が議会で回答しました

「美術は、できるだけ放課後の活動として今やれている活動を残していくことを考えています。吹奏楽とソフトテニスも、自分の学校が通える範囲の学校で、クラブ創設をめざしています」

神戸市会議員 前田あきら

市議会 ▶ 福祉環境委員会委員長 大都市行財政特別委員会理事 広報委員会委員
神戸市 ▶ 社会福祉協議会評議員 国保運営協議会委員 障害者施策推進協議会委員

ご相談はこちらまで

日本共産党須磨事務所 須磨区寺田町1丁目1-13

電話 078-732-6578

時間 11時~16時

発行 日本共産党神戸市会議員団

神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市議会内 電話078-322-5847

市政相談に対応する
前田あきら議員

ストップ!六甲病院移転



灘区の 病院を まもって

10月10日、神戸市議会本会議で、日本共産党神戸市議団の味口としゆき議員は、六甲病院の移転問題について質疑しました。



4年前(2021年)

公的病院(国家公務員共済組合)から民間病院(医療法人若葉会)への事業継承にたいして、灘区住民から「**灘区の地域医療を守って**」と、16000人の署名が寄せられました。

若葉会

「今のところ建て替えは考えていない」
「駐車場を活用して細長い高い建物をたてて移すことなどは考えられる」
「安全で持続可能な医療の提供」「住民に求められる医療の提供」「地域医療支援」と約束。

(神戸市・保健医療審議会医療専門分科会)

ところが…

2025年6月

「医療法人若葉会 六甲病院移転説明資料」

「急傾斜地に面しており、建築の難易度が非常に高い」
「余剰な土地がなかった」と東灘区深江地域(本庄町)への移転を神戸市に説明

神戸市は…

「病院の設置場所は、病院自らが確保・決定するもの」「東灘と灘と中央区の一部を神戸市の東部地域としているので、役割は変わらない」と、移転を容認姿勢。

灘区の住民の声

地域の病院が
なくなると、**困る!**



近くだから
通院もお見舞いも
行きやすかった

神戸市は
代わりの病院を
誘致して

4年前に
民間病院に代わった
ばかりなのに



桜ヶ丘住宅の
跡地を利用
したらいいのに

神戸市は、**灘区**の **地域医療**に 責任を!

味口としゆき議員は、「病院が遠方に移転することで、近隣の高齢患者の通院や入院のお見舞い、提携する老人ホームの受け入れ先に支障が生じるのではないか」という懸念の声を伝え、「灘区の医療を守る立場で動くべき」神戸市は、「積極的な態度で六甲病院の移転問題に対応すべきだ」と、灘区の地域医療を守ることを求めています。

詳しくは、市会の
動画をご覧ください。



神戸市長
久元喜造 殿

六甲病院の 移転中止を求める署名



【陳情の趣旨】

六甲病院は2021年(令和3年)国家公務員共済組合連合会から医療法人若葉会へ事業継承されました。その際、医療法人若葉会は、神戸市に、「安全で持続可能な医療・住民に求められる医療の提供、地域医療支援を事業継承された後も果たしていく」と述べていました。しかし、今回この約束を反故にして、たった4年で、2029年に東灘区深江地域へ移転しようとしています。これに対して、東灘区の6つの病院は、六甲病院が灘区においておこなってきたこれまでの医療や介護の提供がなくなることへの地域への影響も検討すべきとの意見を表明しました。しかし、神戸市はこの移転に対して、「病院の設置場所は、病院自らが確保、決定するもの」と民間任せにしています。六甲病院は近隣住民一特に高齢者も多く利用しており、東灘区(深江地域)へ移転したら通院できなくなると不安の声が多く上がっています。私たちは、灘区地域の医療をまもるため、神戸市が医療法人若葉会に対し、六甲病院の東灘区への移転を中止するよう強く働きかけをおこなうことを求めます。

「ストップ!六甲病院移転」の会



陳情事項

①

灘区の地域医療をまもり、住民に安全で持続可能な医療の提供を続けるため、神戸市は医療法人若葉会に対し、六甲病院の東灘区への移転を中止するよう強く働きかけをおこなうこと。

名前	住所

この署名は神戸市に提出します。それ以外の目的には使用しません。

【取扱団体】日本共産党神戸市会議員団

〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市議会内
※郵送で送っていただける方はお手数ですが、上記の宛先までお願い致します。

市会かわら版

日本共産党 神戸市会報告 灘区版

2026年1月 第27号

長引く物価高騰のもとで、灘区のみなさんの暮らし・お商売は本当に大変です。

市長は、「国の施策を活用した経済支援を行う」としていますが、高市政権の「総合経済対策」は、消費税減税には背を向け、最低賃金1500円目標も取り下げると、物価高から暮らしを守る柱はありません。

今こそ、神戸市は高校卒業まで教育費完全無料、国保・介護保険料の減免、水道料金やバス料金の値下げなど、市民の暮らしを応援する独自支援を実行すべきです。

12月議会では、自民・公明・立憲民主・国民民主の各議員の提案で、議員の期末手当を5万5800円引き上げました。日本共産党神戸市会議員団は、もちろん反対しました。

今、必要なのは市民への支援であり、議員の支援ではありません。

2026年も、灘区を住みやすい、学びやすい、働きやすい街にするため、みなさんと一緒にがんばります。



あじ ぐち

神戸市会議員

味口としゆき

ストップ！六甲病院移転

灘区の病院をまもって

近くだから通院もお見舞いも行きやすかった

神戸市は代わりの病院を誘致して

地域の病院がなくなると、**困る！**

灘区の住民の声

4年前に民間病院に代わったばかりなのに

桜ヶ丘住宅の跡地を利用したらいいのに

神戸市は、灘区の地域医療に責任を！

六甲病院は、東灘区深江地域に移転することを表明しました。地域のみなさんからは、「近くだから行きやすかった」など心配の声があがっています。

味口としゆき議員は、「病院が遠方に移転することで、近隣の高齢患者の通院や入院のお見舞い、提携する老人ホームの受け入れ先に支障が生じるのではないか」という懸念の声を伝え、「灘区の医療を守る立場で動くべき」神戸市は、「積極的な態度で六甲病院の移転問題に対応すべきだ」と、灘区の地域医療を守ることを求めています。



2025年11月1日 高羽小学校で市政報告会

王子公園

大学誘致は当初予定通りすすんでいない

王子公園再整備計画は、今からでも中止に！

神戸市は、市民の「大学誘致より、王子公園・動物園の充実を」という声を顧みることなく、9月に関西学院に土地を引き渡し、ジョギングコースやサブグラウンドの一部が閉鎖されました。また、市民や子ども



が愛着をもっていたプールもなくなりました。灘区のみなさんには、大学誘致のために王子公園が切り売りされ、不便ばかりが押し付けられていると言わざるを得ません。

◀2025年12月14日 王子公園売却撤回住民訴訟緊急市民交流会

味口議員は、10月10日本会議で、「大学関係者からは、建設費高騰で新しい学部が白紙に戻り、さらに総合政策学部・国際学部の一部統合・移転計画も白紙に戻ったと聞いた」「『10億円の違約金を払ってでもやめるべきではないか』という声がある」ことを示し、大学誘致が当初予定通りすすんでいないことを指摘しました。久元市長は、神戸市は9月末に土地の引き渡しが終わっているなどと無責任な答弁に終始しました。



2025年10月10日 本会議

気候危機打開

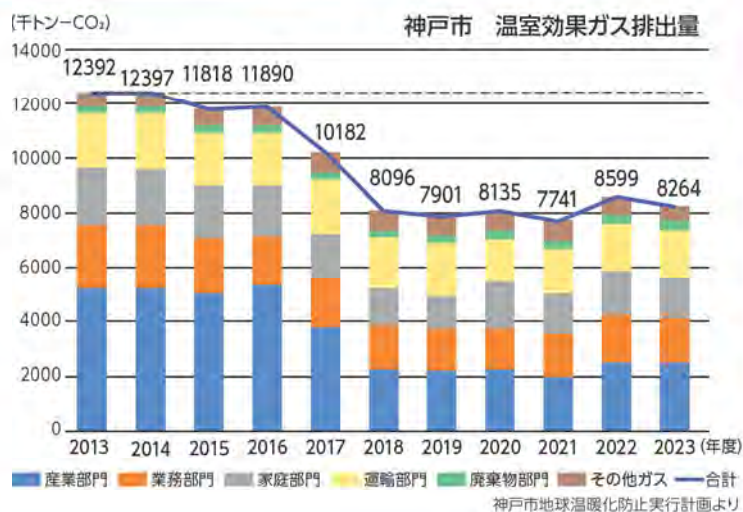
石炭火力に依存 減らない CO₂排出量

気候危機の打開は、いよいよ人類と地球にとって待ったなしの課題となっています。日本でも昨夏の全国平均気温は平年より2.36度高く、統計史上で最も暑い年となりました。

気候危機の進行を止めるには、「化石燃料からの脱却」をすすめ、温室効果ガス排出量を減少させなければなりません。

ところが、神戸市の温室効果ガス排出量は2021年に7,741千トンになりましたが、2022年8,599千トン、2023年8,264千トンと減少していません。主な原因は、関西電力のCO₂排出量が減少しないことであり、その大きな要因は神鋼石炭火力発電所でつくられた電力を全量買い取っているからです。

味口としゆき議員は、環境局審査や環境保全審議会で、「神戸市は、関西電力にたいし、石炭火力発電所への依存を中止することを求めるべき」と繰り返しもめています。



灘区をもっと
住みやすい、
学びやすい
街に

お困りのことがあれば、
どんどん声をおかけ
ください！

味口としゆき議員は、灘区のみなさんから寄せられた歩道や公園の改善をもとめる声をうけ、神戸市に改修・改善を要望。次々実現しています。

まちかど
ウォッチング



Before 永手町1丁目歩道 改修！

After



✓ 寿公園

「暗いので、なんとかならない？」
の声を聞き、街路樹を剪定するなど改善し明るくなりました。



なんでも相談会
やっています

くらし、お仕事、ご商売、学校や
子育てなどお気軽にご相談ください！



みなさまのご意見をお待ちしております

●日本共産党 東灘・灘・中央地区委員会
TEL.078-881-2581 FAX.078-882-5402
E-mail:aji1020@hotmail.co.jp

●市会控室
TEL.078-322-5847 FAX.078-322-6165

日本共産党
東灘・灘・中央地区委員会
(神戸市灘区灘南通5-2-2-1)

●1月12日(月・祝) ●2月14日(土)

AM10:00~12:00



弓木相談会(神戸市灘区弓木町2-3-16)
104号室をお借りしています

●1月18日(日) ●2月15日(日)

AM10:00~12:00



東灘の問題に取り組んでいます

六甲病院の移転反対

御影山手に隣接した六甲病院が2029年に移転計画を発表。地域医療を守るために移転反対でがんばります。



敬老パス・福祉パス適用を広げて



みなと観光へ敬老パスの適用を求める署名実施中

六アイみんなの声を届ける会



店舗・医療機関・役所機能誘致、災害対策、バス・ライナー、煙草ポイ捨てなど課題解決のため地域の方と22回会合を実施。そこでも要望されていた区の出張所の設置が決まりました。

12月1日開設。色んな窓口サービスができる場所にするため引き続きがんばります。

安心・安全なまちへ

住民の要望を西議員が聞き改善された場所



橋の安全

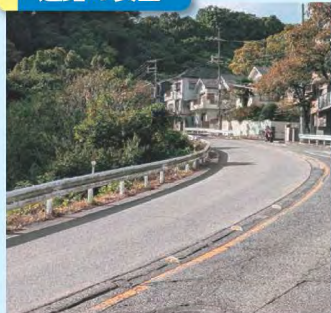
落合橋の歩道部分が改修



工事中

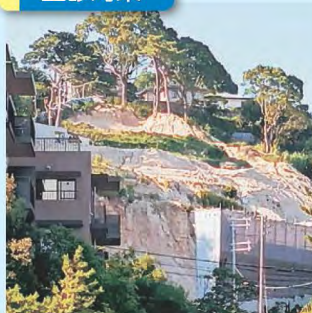


道路の安全



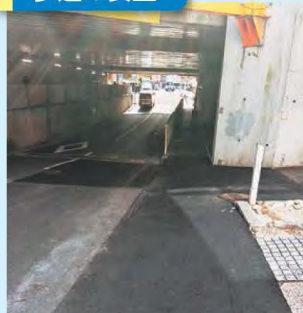
住吉川からはみだした樹木・ツタが伐採され、見通しがよくなりました。

土砂対策



がけ地となった小原流跡地。土砂対策を事業者が約束。さらなる対策を求めています。

歩道の安全



「道路側に道が傾いていて怖い」の声があり、JR住吉駅高架下の歩道の傾斜を緩和。

物価高対策

神戸市が賃上げも生活応援もすべき



新しい年となりましたが、物価高が続いています。「神戸市は市民生活を応援してくれないの？」市民の声です。私は市長に「国に消費税減税を求めよ」と迫りましたが、「求めるつもりはない」とのこと。続いて「では神戸市として何をするのか？この間引き上げた市バス・水道料金を元に戻したり、市長在職12年間で負担増を軽減する気はあるのか？」と問いましたが、「国の動きを見守りながら考える」と非常に後ろ向きでした。

市の当初予算は**昨年の1.1倍**となり、お金はあります。ところが、**資材費が高騰する三宮再開発などムダな大型開発にばかり使い、市民に使わない**。納得がいきません。

議会では、全国の他都市の賃上げした中小事業者への支援策を紹介。巨大開発より直接市民の懐を温める政策への転換が、神戸経済を活性化すると求めました。



阪神住吉駅前にて朝宣伝

他都市の主な賃上げ・正社員化支援金制度

岩手県

●時給60円以上の賃上げを対象に、6万円／人を支給

山形県

女性非正規雇用労働者の

●時給50円以上の賃上げを対象に、5万円／人を支給

●100円以上の賃上げの場合は、10万円／人を支給

●正規雇用労働者に転換した場合 10万円／人を支給

仙台市

●国の中小企業最低賃金引上げ支援対策費補助金に上乗せ最大60万円

北九州市



神戸市会議員

西ただす

毎日駅前
市政報告

JR住吉駅ほか実施中!!
ご相談などあれば気軽に
声をかけてください。

日本共産党

神戸市会報告 東灘区西部版 2026年新年号

日本共産党神戸市議員団 検索

発行/日本共産党神戸市会議員団 神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市議会内 TEL 322-5847 FAX 322-6165

東灘区連絡先

●住吉宮町3-15-8 TEL 414-8875

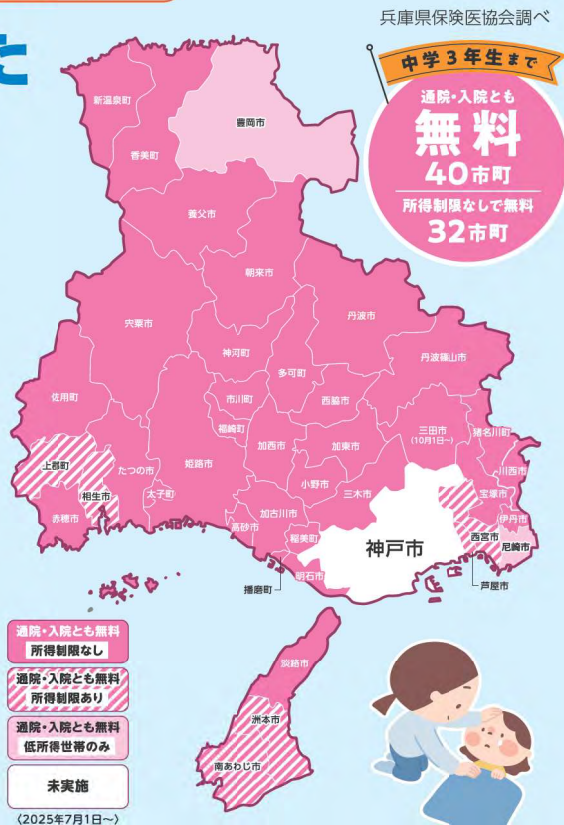
こども医療費

県下で最も遅れた まちから脱却を！

西議員は、市長に対して、市のこども医療費助成制度が**兵庫県下ワースト1位**となっている実態を示し、姿勢を変えることを求めました。神戸市以外の41市町はすべて通院・入院で中学校卒業まで医療費が無料になりましたが、**神戸市の通院の無料は2歳まで**でとまっています。

神戸市は「こどもの医療費を無償化しない理由」をHPに載せるほど**有料にこだわっています**。無料化すると「医療現場が疲弊し、重症患者や急患などへの影響が懸念される」と書かれています。しかし、「どのまちでそんなことが起きているのか？」の質問にはまったく答えられませんでした。

さらに市長は、「**自分が市長である限りは負担をお願いする**」と本会議で宣言。市は、「子育て日本一」のまちと宣伝していますが、本気でそれを目指すなら無料化に踏み出すべきです。



給食 よりよい給食へ一步一步

日本共産党神戸市会議員団は、市民のみなさんと中学校給食の実現、内容の改善、給食の無償化を求める運動などに取り組んできました。そうしたもとで、1月よりすべての小中学校で全員が食べる温かい給食が実現します。**市民の願いが一步一步実現しています**。ただセンター方式での中学校給食では、栄養教諭が全82校で6人しか配置されず、小学校の教諭が駆り出されることになり、食育全体が後退します。またセンターでは、大量の食材が必要で、地産地消が進めづらくなります。引き続き、自校方式での実施を求めています。



教育こども委員会で質疑

保育 保育士の配置基準を守れ

神戸市では、国が決めた保育士の配置基準が守られておらず、保育現場は大変な状況です。ところが、答弁は「少子化が進めば(基準に近づく)」と増員には非常に後ろ向きです。また、事故の増加を指摘すると「ちょっとした骨折はある」と子どもたちの命や安全に向き合わない答弁までありました。安心して子どもを預けられる環境をつくるため引き続き、厳しく追及していきます。



よりよい保育をつくる会のみなさんと
こども家庭局に申し入れ

市営住宅

削減反対! 低廉な住宅の確保を 誰もが安心してくらせるまちを



市営住宅の全国平均入居倍率は3.6倍に対して神戸市は11.1倍と3倍の開きがあります。その原因は、他のまちにない何十年と続く市営住宅削減計画にあり、神戸市はこの間**“日本一市営住宅を減らすまち”**となってきました。また、入居規制で募集を停止し、**大量の空き部屋**が存在します。しかも、さうなる削減が計画されています。

質疑では、生活苦が広がる中、低廉な住宅の削減に反対すると同時に、世界的には、賃貸住宅のお住まいの方への**家賃補助**などが進んでいることを示し、**「住」に責任を持つ自治体**に変わることを求めました。

順位	道府県	2006年度	2020年度	削減数	
1	兵庫県	135,466戸	122,169戸	▲13,297	うち神戸市が8777戸
	合計	2,190,438戸	2,139,723戸	▲50,715	兵庫県で全国の26%を占める

(出所:国交省公営住宅管理実態調査から作成)

市バス

市バス事業が抜本縮小!

国は人口減少による乗客数減や燃料費の高騰のもとでは、交通事業は運賃だけでは成り立たないとし、「**独立採算制の限界**」という言葉を使い始めています。また、交通の役割は、多面的なのだから自治体の他の局との協力が必要としています。

大型開発にだけいくらでもお金を出すのでなく、ここにこそ**公費の支援**が必要です。

ところが、神戸市交通局は、かたくなに「独立採算」にこだわり、赤字を理由に先日発表した神戸市営交通事業経営計画2030(案)の中で、**市バスの大幅な路線・便数減、一日乗車券や230円区間の見直し、さらに事業運営体制の再編検討**まで言い出しました。

日本共産党神戸市会議員団はこの危険な動きを止めるためにがんばります。

鉄道・バスが廃止されると?



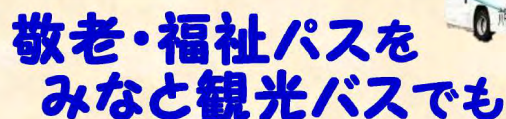
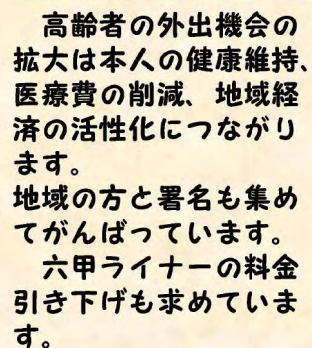
近畿運輸局資料。通院、買い物、健康づくり、定住、観光などで交通事業の大切さを指摘。

→ 運転手の高齢化の放置で安全軽視

全国的な運転手不足が続いています。神戸市は「今現在は運転手は確保できています」と言っています。ところが、**運転手184人中、20代が2人のみ、50,60代が68%**という驚くべき年齢構成となっています。

西議員は、横浜市営バスが若い世代の獲得をめざし待遇改善をすめたと募集が殺到していることを示し、市も参考にし、**持続可能で安全な運行環境**をつくることを求めました。

	10代	20代	30代	40代	50代	60代～	合計
運転手	0	2	22	34	60	66	184
運輸事務	0	0	8	11	11	6	36
運輸技術	0	0	3	3	1	0	7

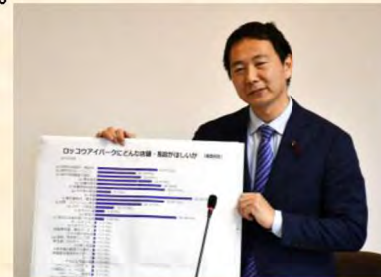
[illegible]

街の活性化を

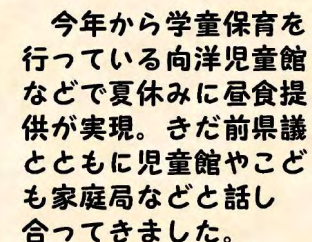
住民の気持ちに
そった街づくりを!

2018年のパントリー撤退にあたり日本共産党神戸市議員団と西議員はアンケートをとり、スーパーの設置を求めました。ROKKO i PARK完成後も引き続き、意見を集めて市や持ち主の大栄環境さんにも伝えています。

12月スタートの
区役所出張所も
「マイナンバーだ
けでなく行政施設
として充実を」の
声を届けていきま
す。



児童館で 夏休みの昼食がスタート!!



学校前で給食含め
子育て署名実施中

神戸市会議員

西 ただす

日本共産党 神戸市会報告 六甲ア行外*版 2025,26年冬号

日本共産党神戸市会議員団

檢索

発行/日本共産党神戸市会議員団 神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市議会内 TEL078-322-5847 FAX078-322-6165
東灘区連絡先:住吉宮町3-15-8 TEL 078-414-8875



六アイのみなさんとかんぽってきました



パントリーの撤退問題に合わせて住民が「六アイ 市民の声を届ける会」(とど会)を立ち上げ
すでに22回の会合を実施。毎回、西市議ときだ前県議は参加し、相談にのってきました。

これまでの主なテーマ

- ◇ パントリー撤退問題、
- ◇ ROKKO i PARK、
- ◇ ファッションマートの店舗応援
- ◇ 高潮・津波対策
- ◇ 医療機関の充実
- ◇ 環境問題
(神戸製鋼所の石炭火力問題)
- ◇ マリンパーク
(釣り場、AOIA跡地の活用)
- ◇ 煙草ポイ捨て
- ◇ トイレやベンチの設置
- ◇ 給食 ◇ 学童保育

などなど

*街頭や訪問でアンケートや
署名も集めています。

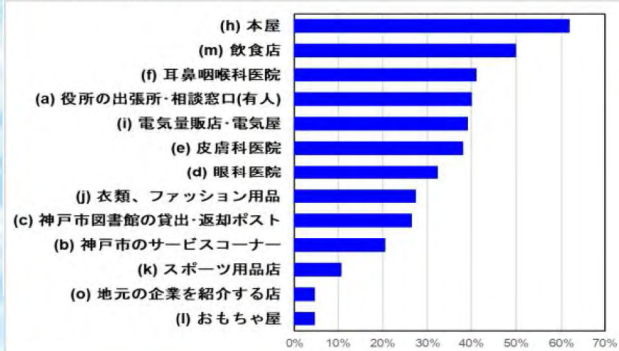


日本共産党神戸市会議員団と西議員が聞いた
声はとど会ニュースにも反映されています。

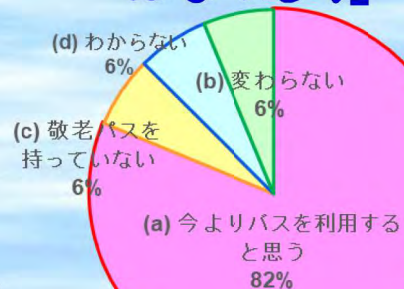
ROKKO i PARKなどへの アンケート結果(23年～24年)

ROKKO i PARKアンケート 2024-2025

[1] 「ROKKO i PARK」にどのような施設が入ってほしいですか？
(複数回答可)(スーパー、薬局以外)

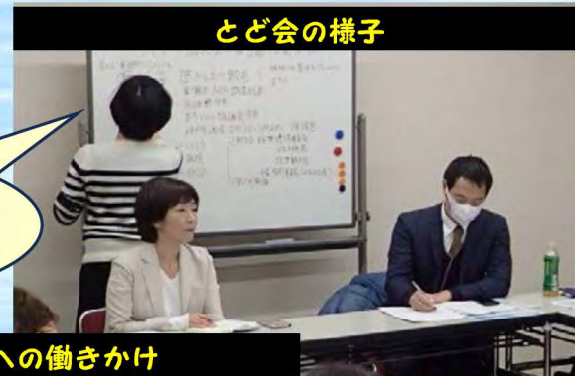


みなと観光バスアンケート 「敬老・福祉パスが使えるよう になったら」



市民・行政・事業者みんなでいい街へ

とど会の様子



みんなの希望や課題
を書き出しています。

大栄環境への働きかけ



食料品はもっと小分け
したものがほしいです

環境局に申し入れ



煙草のポイ捨て
問題で懇談

神戸市交通局資料（2025 年 11 月）

全文はこちら⇒



須磨エリアの路線見直し案

○見直しの方向性

- ・「最寄り鉄道駅への移動手段の確保」を目的とした路線見直し。
（例：単一の住宅地から複数駅へ向かう系統は、原則として最寄り駅へのアクセスに集約）
- ・複数の系統が複雑に重複・交差し、非効率な運行となっている路線をシンプルな路線へ統合・再編。
- ・他系統による代替が可能、若しくは利用者が限定的な系統は、運行内容を見直し、効率化を図る。

○見直しを行う系統（案）

系統	主な運行経路（現行）	系統 統合	運行内 容の見 直し	見直し後（令和8年夏頃）
10 81	・10 系統：（循環）須磨シーワールド～新長田 ・81 系統：須磨一の谷～新長田	○	—	・81 系統へ統合。 ・須磨一の谷～新長田の往復運行。
80 区 75	・80 系統：（循環）高尾台～新長田 ・区 75 系統：妙法寺～JR 鷹取	○	—	・80 系統へ統合。 ・高尾台～板宿～鷹取駅として再編。
88 89	・88 系統：妙法寺～（循環）柏台 ・89 系統：妙法寺～（循環）多井畑東町	○	—	・89 系統を 88 系統へ統合。 ・88 系統に多井畑東町経由ルートを設定。
74	・名谷駅前～柏台	—	○	・平日朝ラッシュ時のみに特化。
71 75	・71 系統：須磨一の谷～北須磨団地 ・75 系統：須磨一の谷～妙法寺駅前	○	—	・71 系統を 75 系統へ統合。 ・75 系統の朝ラッシュ時間帯を強化し、71 系統の機能を吸収。
72	・71 系統：須磨一の谷～（循環）多井畑厄神	—	○	・路線全体の輸送力調整のため減便
5 11 13	・5 系統：若草町～板宿駅～新長田駅 ・11 系統：神戸駅～新長田駅～松原通 5 ・13 系統：兵庫駅～長田駅～板宿駅～新長田駅	—	○	・鉄道駅間（板宿～新長田）の輸送力を関連系統で調整。 ・13 系統を板宿止まりに短絡化。
110 112	・110 系統：神戸駅～板宿駅～鷹取駅 ・112 系統：神戸駅～板宿駅～鷹取駅	—	○	・110/112 系統を統合し、板宿駅までの短縮路線として再編。パターンダイヤを導入。
79 84	・79 系統：東白川台～落合団地前～名谷駅 ・84 系統：若草町～清水台～名谷駅	○	—	・84 系統を 79 系統へ統合。 ・ラッシュ時間帯と日中時間帯で経由地を変更する運行ルートを設定。

※ 便数については、IC カード 2 タッチデータによるご利用状況の把握に基づき決定する。

バス路線を守り 廃止 減便 ストップ！

神戸市交通局は須磨区内で

15 路線廃止・減便の計画案を公表。

26 年 8 月に実施するとしています。

15 路線で3割の削減案

- 北須磨団地…日中の路線が 3 路線から 1 路線に減便
- 高倉台や多井畑…区役所への直接路線がなくなり減便
- 一の谷・須磨駅…小中学生が使う通学路線も廃止・減便対象に
- 板宿鷹取周辺は大幅減。若草や落合団地発も減。月見山はバス停ゼロに
- バスで目的地に行けなくなり、鉄道の利用で負担増

（例：高倉台→区役所：230 円 高倉台→妙法寺⇒板宿：440 円）

統合で混雑し 交通弱者が乗れない事態も

バス乗り継ぎは、ベビーカーの親子や杖をつく高齢者や障がい者にとって、大きな負担で、統廃合で混雑すれば、乗りたくても乗れなくなります。

『利用者の声で見直しも』 交通局長が答弁

前田あきら市議は、12 月 9 日本会議で、減便・廃止の撤回を求め質疑。利用者の声を聴いて見直しを求めました。交通局長は、あくまで交通局（案）であり「これから説明に入る地元からの意見の反映や、利用者からの意見も取り入れたい」と、2 月の成案公表以降でも修正すると答弁しました。
より多くの利用者の声を、神戸市に届けることが大切です。



利用者の声を届け、減便を撤回させ
バス路線を守り・充実させましょう！

日本共産党神戸市会議員

前田あきら ご相談はこちらまで

日本共産党須磨事務所 須磨区寺田町1丁目1-13

電話 078-732-6578 時間 11時～16時

日本共産党神戸市会報告（2026 年バス路線特集） 発行：日本共産党神戸市会議員団

神戸市中央区加納町 6-5-1 神戸市議会内 電話 322-5847

市バス 15 路線で『3 割の便数減』の路線見直し（案）

神戸市は運転手 15 人分（概ね 153 本の運行本数）の路線を削減するとしています。
エリアごとの再編後の路線は以下の通り（運行本数は交通局の公表資料より試算）

○今後の予定

12 月頃 地域団体への説明開始

2026 年

2 月頃 利用者むけ広報開始

8 月頃 廃止・減便を実施

**150 本以上
の減便**

高倉台エリア 北須磨団地・一の谷含む

281本	220本程度
71系統 廃止	新72系統
72系統 減便	新75系統
75系統 減便	
74系統 減便(朝5本のみ)	新74系統
88系統 統合	新88系統
89系統	

東白川台エリア 若草・清水台含む

81本	70本程度
79系統 統合・減便	新79系統
84系統	

鷹取駅周辺エリア 高尾台含む

188本	100本程度
80系統 短絡	
区75系統 廃止	
13系統 廃止 (板宿～新長田間)	新80系統
110系統 廃止 (板宿～鷹取間)	
112系統 廃止 (板宿～鷹取間)	
10系統 廃止	
81系統 減便	新81系統

アンケートを切り取ってお届けください

宛先 日本共産党神戸市議員団

Fax 078-322-6165

郵送 〒650-8570 神戸市中央区加納町 6 丁目 5-1-27 階

須磨区内の市バス路線見直し（案）への ご意見をお聞かせください

1. 普段、市バスを利用されますか？（はい・いいえ）

・利用する路線 （ ） 系統・バス停（ ） から （ ）

・利用の目的 （ 通勤・通学・買い物・通院・その他 ）

1. 路線見直し（案）をどう思われますか？

（不便になる ・ 便利になる ・ 変わらない）

その具体的な路線と内容

2. 市バスの改善点など、ご意見をお書きください

お名前 （ ） 年齢 （ ）

ご住所 （ ） 電話 （ ）

ご協力ありがとうございました

2026 年予算懇談会への参加のご案内と市会報告の送付について

寒冷（かんれい）の候、日頃から、市民の願い実現へご尽力いただきありがとうございます。
ざいます。

震災から 32 年目を迎えます。市民にとってはさまざまな困難に直面しながらも、生活基盤の復旧・復興へ全力で取り組んだ 31 年でした。神戸市は「復興」を口実にした財界・大企業奉仕の大型開発を推し進める一方、物価高で苦しむ市民、中小事業者に手を差し伸べることなく公共料金の値上げや公共サービスの切り捨てを進めています。市民の力で市民本位の市政へ転換させるため、みなさんとともに力をあわせ全力で取り組んでまいります。

2 月中旬から神戸市議会において予算議会がおこなわれます。日ごろから様々な活動に取り組んでおられるみなさまのご意見やご要望をお聞きする予算懇談会（2 月 12 日）のご案内をお送りします。ぜひご参加ください。またあわせて市会報告も同封しましたのでぜひお読みいただければ幸いです。

送付物一覧

1. 「市議会だより」 合本
2. 予算要望懇談会のご案内
3. 市会報告 2026 年新年号

2026 年 1 月

日本共産党神戸市会議員団

団長 森本 真



議員団の要望書

暮らしに寄り添う住民本位の神戸の実現へ
力あわせ政治を変えよう

要求をお寄せください！

予算要望懇談会にご参加を



予算要望書
全文はこちら↑

日時 2月12日（木）午後6時30分～
場所 中央区文化センター・1103・1104号室

高市政権は、極右・排外主義の勢力を取り込んで、トランプ政権が求める大軍拡に前のめりで突きすすみ、憲法改悪、「スパイ防止法」制定や「外国人政策」など差別と分断をもたらす戦争国家づくりをすすめています。また自民党政治のもと株価をつりあげて株主の利益の最大化を最優先する「株価至上主義」により、労働者の賃金と労働時間に耐えがたい犠牲がもたらされています。賃上げ・労働時間の短縮など、労働者の要求実現のためにも、日本の経済・産業の発展のためにも、「株価至上主義」「財界・大企業の利益最優先」のゆがみを正す改革が求められています。

神戸市は、復興という名の大規模開発や三宮・ウオーターフロント再整備をはじめとした巨大再開発、神戸空港の国際化などを推し進めてきましたが、物価高騰に苦しむ市民との矛盾は大きく広がっています。国任せ事業者任せで進める大規模開発には予算を惜しまず、事業費を増額し、連続する物価高騰、公共料金の値上げ、市バス路線廃止・減便など公共サービスを切り捨てる市政を転換していきましょう。

日本共産党神戸市会議員団は、市民のみなさんと力を合わせてがんばります。

多忙な時期とは存じますが、予算懇談会を開催しますので、ぜひご参加いただき、皆さんの願いをお持ちより下さい。議員団一同、お待ちしております。



発行 日本共産党神戸市会議員団

神戸市中央区加納町六-五-一神戸市議会内

電話（〇七八）三三二一五八四七

FAX（〇七八）三三二一六一六五

路線廃止・減便ストップ 市バス路線の充実を!

2025年12月9日に神戸市会本会議がひらかれ、日本共産党神戸市議員団を代表して前田あきら議員と赤田かつのり議員が一般質問に登壇しました。

- 質疑項目
1. 須磨区のバス路線廃止・減便について
 2. 子育て・教育の負担軽減と学費・給食の無償化について
 3. 物価高騰からくらしを守る施策について

神戸市は、須磨区内の市バス15路線を7路線へ大幅廃止と、運転士15人分に相当する運行本数を削減する計画案(2026年8月に実施)を公表しました。それにより、1本の市バスで行けていたものが、2本以上のバス乗継ぎや鉄道乗換えが必要になるなど、市民に負担と不便を強いることとなります。12月から

始まった地元自治会への説明会でも、反対の声が多数上がっています。

前田あきら議員は、市長選挙前に発表して広く市民や議会の意見を聞かず、選挙直後に、一方的な減便を公表したことを批判し、市バス路線の廃止・減便計画の撤回を求めました。

前田あきら議員が 一般質問



ば、運行本数の削減にこだわることなく計画を修正するのか。

城南局長: 12月からは地域の代表の方々の意見を反映し、それが成案になる。その後、一般の皆様からもご意見を聞き、より多くの利用につながる意見などは取り入れていきたい。

前田議員: おおむね1日あたり153本の減便計画だ。例えば、北須磨団地は、3路線のうち71系統を廃止、74系統はラッシュ時のみになる。月見山は、バス停がなくなり、バス空白地になる。高倉台や多井畑は、区役所への直接路

線がなくなり、須磨駅を結ぶ便も減便される。板宿・鷹取周辺エリアは、4路線が廃止・短絡され、対象路線が半減する。若草や落合団地も経便数が減便される。本当に受け入れ難いものだ。今回廃止・減便される路線には、小・中学生が遠距離通学で使っている便も含まれ、減便で待ち時間が増えて、児童・生徒の安全に影響があっては困るという声が教育現場から上がっている。こういった声を聞いて路線廃止・減便計画は撤回し、本当に市民に求められる路線を維持するべきだ。

答弁ダイジェスト

城南交通局長: 市バス事業は危機的な経営状況で、現状の路線・運行本数の維持は困難だ。今後は2月を目途に、ホームページやバス停への掲示等で周知する。周知・公表

した後は、電話・メール・窓口等での個別相談に丁寧に対応していきたい。

前田議員: 路線見直しは地元や利用者の意見を十分に反映すべきものだ。市民や利用者から見直しの意見があれ

「神戸市営交通事業 経営計画2030(案)」へ市民意見をお寄せください

交通局は今後5年間の方針を示し、2024年の運賃値上げ・バス路線の縮小で「単年度収支は均衡レベルまで回復した」としつつも、さらなる「増収策」として「運賃改定(値上げ)の検討」と「経費削減策」として「(バス路線の)運行費用の削減」を打ち出しています。

市バス路線を守り充実へ、みなさんの声を、「市民意見募集」にお寄せください。

- ・募集期間: 2026年1月9日(金)～2月9日(月)
- ・閲覧方法: ホームページ又は各区役所支所や市政情報室など

- ・提出方法: 氏名と住所を記入して下記まで

件名「意見募集」宛先「神戸市交通局経営企画課」

メール: kotsu-zaimu@city.kobe.lg.jp (テキスト形式で)
FAX: (078) 984-0201 郵送: 下記住所まで

- ・問い合わせ先: 神戸市交通局経営企画課

〒652-0855 兵庫区御崎町1-2-1 御崎Uビル3階 078-984-0108



ホームページ



意見提出フォーム

かくれ教育費負担ゼロへ 学校給食・学校徴収金の無償化を

物価高騰は、修学旅行や学校行事など教育への影響も広がり、子育て世帯の家計も圧迫しています。前田議員は、臨時議会の開催を求め、福祉や保育、交通を始め事業者への物価高対策とともに、国待ちにせず早期に小・中学校の給食を無償化すべきと質しま

した。また、前田議員は、学校指定の制服やかばん・体操服の購入費、修学旅行や教材費など、義務教育に必要な費用は、各家庭に負担を求めず、就学援助などの収入を限定するものではなく、全世帯に支援すべきと求めました。昨年12月25日と26日にひら

かれた臨時市会では、小学校給食の無償化予算が可決されました。日本共産党神戸市会議員団は、小学校給食だけにとどまらず、給食の質と量を

低下させず、さらに中学校給食の無償化など、神戸市が財政的支援をして早期に実施するよう引き続き求めています。

答弁ダイジェスト

福本教育長：これまでも食料高騰分の公費負担や中学校給食費の半額助成をおこなってきた。今後は国の制度設計に合わせて準備を進め、まずは小学校給食の無償化に取り

組みたい。

前田議員：直ちに補正予算を編成し、無償化を早期に実施すべきだ。あわせて不登校やアレルギー対応で給食停止のご家庭に給食費相当額を支給していただきたい。

エレベーターやホーム柵、無人改札の解消へ 垂水駅の安全性と利便性の向上に JR西日本に強く働きかけよ

質疑項目

1. JR垂水駅の安全性と利便性の向上について
2. 保健所の整備について

JR垂水駅は高架になっており、上り線下り線を1本のホームで対応しています。2020年3月には、視覚特別支援学校に勤務する弱視の教員が誤って転落し亡くなる重大事故が発生しました。赤田議員は、駅東口のエレベーター

設置や転落防止用のホーム柵設置にとどまることなく、現在無人になっている東口改札の係員を常時配置に戻し、高齢者や障がい者が安心して利用できるようにJR西日本に強く働きかけるべきと求めました。



赤田かつのり議員が一般質問

東口は区役所等もある重要なところなので、強く働きかけていきたい。

赤田議員：JRが2005年度に垂水駅の乗降客の安全を守るホーム要員を廃止するなどしてきた結果が今の東口だ。垂水駅前には、高層タワマンションが建ち、周辺には市営住宅跡地を売却して建ったマンションで周辺の人口も増え公共施設・商業施設も集中している。市長自らが垂水駅に出向いて改善を求めるべきだ。

今西副市長：垂水駅東口はまちづくりが進んでいるエリ

アで、障がい者や高齢者など様々な方々が利用するため、安全性を確保した駅は大変重要な課題だ。JRへの要望書は市長名で出し、街が変わりつつある状況も適切に伝えていく。

赤田議員：駅周辺に人を集中させている市の施策が影響している。三宮でもバスターミナルや新駅ビルに市が大金を投じ、JRに至れり尽くせりの投資をおこなっている。JRに対して強く安全性を求めることが市の責務だ。強く働きかけるべきだ。

答弁ダイジェスト

今西副市長：JR垂水駅は、転落を検知するホーム安全スクリーンを設置している。東口のエレベーター設置は駅の構造上ハードルが高いため、他の改札のエレベーターをご利用いただきたいとJRから聞いている。地元からは東口に2経路目のバリアフリー経路を設けてほしいという要望が多く、JRに整備を要望している。市は垂水駅を「重点要望駅」に位置づけ、毎年JRに対し直接要望書を提出しており、人的対応を含むソフト面の向上も引き続き働きかけていきたい。

赤田議員：垂水駅は狭いホームが1本だけで、人混みも多く、振り返ると2005年と2012年にも転落死亡事故が発生している。身体も目も不自由な方からは「狭くて歩きにくく怖い」「改札からホームへの階段が大きな負担」という声を聞いている。終日東口に駅員が不在で、インターホンを押して呼び出し、駅員が来るまで20分待たされるという状況だ。毎年要望しているなら直接（障がい者の方々と）面会して要望すべきだ。

今西副市長：私は直接聞いたことはないが、福祉局と関係部局は聞いていると思う。



小学校の水道からPFAS検出

改善が実現へ

神出小学校の簡易水道から発がん性などのリスクがある有機フッ素化合物PFASが検出され、市民から市水道への切替えなどを求める陳情が提出されました。日本共産党神戸市会議員団は教育委員会に対し財政的支援を行い早急に市水道へ切り替える事を求めました。

予算決定

全体工事費 約2067万円（水道局含め）

●12月19日 施工事業者 決定 ●2026年1月
から開始し工事完了まで4か月の見込みです

陳情第162号に対する会派態度 2025年10月3日

神出小学校水道のPFAS汚染の
早期解決を求める陳情

共産

自民

維新

公明

こうべ
未来

審査打切

○：採択 ■：審査打切（こうべ未来は立憲民主と国民民主の会派）



お困り事の解決へ頑張ります



市民の暮らしを守る 神戸市政へ



物価高騰が続くなか、消費税の減税は棚上げし大軍拡を進める高市自民・維新政権に「酷い!」と批判の声広がっています。日本共産党神戸市会議員団は神戸市に対し苦境に立つ中小企業へ「賃上げや雇用の正規化」の直接支援、「学校給食の無償化」などを求めました。今、必要なのは三宮再開発ではなく国保・介護保険料の減免、水道料金やバス料金の値下げ、教育費の負担軽減など市民の暮らしを応援する事です。新たな年も安心して住める西区へとみなさんと一緒に頑張ります。



9/11 決算特別委員会（経済観光局）

中小企業・小規模事業所へ 直接支援 を

神戸経済の99.7%を支え雇用の7割を占める中小企業・小規模事業所の多くが、長引く経済低迷の中で物価高騰が加わり苦境に立たされ廃業、倒産が続いています。兵庫県が、最低賃金を1116円に引き上げましたが、賃上げしたくても出来ない厳しい実態を受け止め中小企業や小規模事業所へ直ちに市独自の直接支援を行う事を求めました。

経済観光局副局長は「賃上げについては、事業者が原資を自らつくり出して行くことが重要」と答弁。



岩手県・山形県・奈良県・仙台市・川崎市・浜松市・北九州市など他都市では、独自の支援金制度をスタートしています

「2026年度予算要望書」を提出!

日本共産党神戸市会議員団は、市民の皆さんから寄せられた願い実現へ927項目の予算要望書を神戸市へ提出しました。

全文はこちら



お気軽に
お声をかけて
下さい

森田たき子
市政報告

定例駅頭

西神中央駅

毎週火曜日 7時～8時

学園都市駅

毎週金曜日 7時～8時

西区事務所

西区玉津町高津橋297-12 TEL 919-6650 FAX 918-3772

神戸市会議員 もりた たきこ

森田たき子

日本共産党 神戸市会報告
西区版 2026年冬春号

日本共産党神戸市議員団

検索

発行：日本共産党神戸市会議員団 神戸市中央区加納町6-5-1
神戸市議会内 TEL 322-5847 FAX 322-6165



学校給食無償化

今年新学期から小学校で開始



日本共産党神戸市議員団は学校給食の無償化へ、神戸の中学校給食を実現する会のみなさんと署名を集め、2024年に神戸市議会(教育こども委員会)で「神戸市独自で無償化」を求める陳情の採択にこぎつけました。

12月本会議では、国待ちにならず、給食の質を落とさず無償化の早期実施を要望。教育長は「4月からまずは小学校給食の無償化にとりくむ」と答弁。久元市長も年末に臨時議会を招集し「給食の質維持へ物価高騰分の公費助成」を実施することを表明しました。

2025年度神戸市の外郭団体(30団体)に関する特別委員会で質問しました。

神戸市民病院機構

* 差額なしのベッド数削減はダメ!

西市民病院・神戸アイセンター病院では2025年6月から、「患者ニーズに応えた」と4床部屋を家具で仕切って個室料金1日4400円を徴収する「準個室」をつくり一般病床を削減しました。準個室は「患者さんの支払い能力を優先させる」事になり入院を躊躇する事に繋がります。神戸市民病院本部長は「今後については、検討中」と言っていますが、患者がきちんと療養できるよう経済的負担の押し付けはやめるべきです。



健康局審査で質問(12月12日)



一般病床

準個室

- 市民病院の一般病床数:1563床
- 差額なしベッド数:1245床



西区住民のみなさんと一緒に「差額ベッドなしの病床は減らさないように」と求めました。

* 医師の長時間勤務はダメ!

2024年4月から「医師の働き方改革」による時間外・休日労働上限規制(原則年960時間)が始まりました。神戸市民病院機構では月960時間の達成は2035年度末までにと後ろ向きです。2024年度は心臓血管外科や産婦人科の医師の時間外労働時間は平均で月1000時間以上、他の診療科でも同様のハードワークを強いられています。市民の命を守る医師が命をけずるようではいけません。国に診療報酬の引き上げを求め、医師を増やし、体制を強化する事が必要です。



2025年度
緊急補正予算

国は物価高対策として神戸市へ約110億円支給し速やかな実施を求めましたが、市は23億円しか使わず残り約86億円の使途は検討中です。他都市のように物価高に苦しむ市民・事業者に速やかに支援すべきです。

[23億円の内訳]

- 中学校給食の保護者負担軽減
- 児童福祉施設等への運営支援
- 介護、障害福祉サービス施設等への運営支援

公立大学法人・市立看護大学

看護大・市立外大への支援強化を

* **看護大**は、高い専門性や技術の習得が必要でハードな授業になっています。アンケートなどからも学生の94.7%が生活費や学費を稼ぐためにアルバイトしており「自習など自由な時間がない」実態がわかりました。

奨学金は収入基準が厳しく、支給された学生は申請者の31.4%にとどまっています。奨学金の基準の見直しや、県立看護大のように入学金・授業料は無料にするなど経済的負担をなくし安心して学べるようにすべきと神戸市に求めました。

また、学食メニューの充実など学生から寄せられた要望を伝え、市の運営交付金の増額も強く求めました。



* **市立外国語大学**には約2000人の学生が在籍していますが2025年に留学した学生は62人と少なく学生からは「留学費用が高い」と支援を求める声が上がっています。留学費のために必死でアルバイトを掛け持ちし、食費を切り詰めている厳しい実態があります。学生への留学支援の拡充と学費無料化など負担軽減で留学を諦めなくてもいいように支援をすべきです。

事務局長 「さらなる拡充は想定していない。」

学生や職員から「食堂が狭く拡張して欲しい」また2部の学生は「夕方からも使用出来るようにして欲しい」と切実な声があり快適に学生生活が送れるよう環境整備を求めました。



神戸市公園緑化協会

* 須磨離宮公園駐車場の安全・安心対策を!

須磨離宮公園の年間入園者は毎年20万人を超えています。来園者の方から「駐車場が分かりづらい」「駐車場出口が危険」という声が寄せられています。また第2駐車場の床が網目状で雨が降ると雫が落ちてきます。女性への配慮も必要であり早急に改善すべきと求めました。建設局公園部長は、「改善策を検討していきたい」と答弁。早期の改善を求めています。



建設局審査で質問(11月18日)

●物価高騰から暮らしを守る

国 は神戸市に対し、約110億円の「重点支援地方交付金」を内示しました。昨年12月の臨時神戸市会では、23億4500万円を充当して、子ども一人当たり2万円の子育て応援手当や児童福祉施設や介護・障害福祉サービス施設への光熱費などの支援に充てるだけにとどまっています。残りの使い方について、神戸市は「検討中」としています。しかし、物価は上がり続けています。生活や営業に苦しむ市民への直接支援に充当するよう引き続き強く要望します。



●小学校の給食費が無償に 子育て支援のさらなる強化を

2 026年度から小学校の給食費が無償化されることになりました。急激な物価高騰で家計が圧迫される中、早急に実現すべきです。日本共産党神戸市議員団は、市議会で繰り返し質疑し、神戸市に要望をしてきました。2024年3月の教育子ども委員会で、「神戸市の学校給食を無償にすることを求める陳情」が陳情、採択されました。保護者や教職員の長年の運動と日本共産党の論戦が実ったのです。中学校の給食費の無償化も急がれます。そもそも憲法は義務教育無償の原則。日本共産党神戸市議員団は、高校卒業までの教育費完全無料を実現するため、引き続き頑張ります。



●住みよいまちづくりへのご要望や生活相談は、赤田議員へ

場 所 日本共産党垂水区生活相談所 陸ノ町1-27 電話:705-1700
または 日本共産党神戸西地区委員会 坂上4-2-16 電話:753-5287



階段しかない JR垂水駅東口の 改善を

安全な駅に。バリアフリー化を強く要望する赤田議員

年間約28000人以上の乗降客数は市内5番目。ホームまで階段で上るしかない東口のバリアフリー化は市民の強い要望です。神戸市は垂水駅東口を元町駅、須磨駅南口とともに「重点要望駅」として、JR西日本に、毎年要望はしています。

神戸市内各駅の1日 平均乗車人員(2024年度)

1位	三ノ宮駅	119670人
2位	神戸駅	50836人
3位	住吉駅	32642人
4位	元町駅	32065人
5位	垂水駅	28278人
6位	六甲道駅	25288人
7位	新長田駅	20963人
8位	兵庫駅	20229人

JR西日本資料より

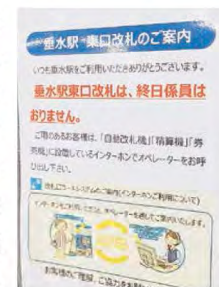
高架になっているJR垂水駅は上り線・下り線を



一本のホームで対応しています。赤田かつのり議員は12月8日の市会本会議で、JR垂水駅について質問をしました。

この駅では、度々利用客の転落があり、不幸にも死亡事故も発生しています。しかし、東口改札口には終日、係員がいない状態です(写真)。転落防止用のホームドアの設置が必要です。と同時に、現在無人になっている東口改札口の係員を常時配置に戻して、高齢者、障害者などが安心して垂水駅を利用できるようにする必要があります。

駅前の高層タワーマンションや新しい商業施設などが次々開業し、人の流れが激しくなることが予想されます。神戸市には駅前再開発を強行した責任があります。駅のバリアフリー化は鉄道会社の所管ですが、神戸市にも高齢の方、障害をもっている方、子どもなど鉄道を利用する市民の安全に対して責任があります。



神戸市会議員

赤田かつのり

すぐに動きます。
いつでも、あなたの力に。
KATSUNORI AKADA

事務所連絡先

垂水区坂上4-2-16 TEL/753-5287 FAX/753-5289
mail/jcpkobewest@sea.plala.or.jp

日本共産党 神戸市会報告
垂水区版 2026年 春号

発行 日本共産党神戸市議員団 神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市議会内
TEL 322-5847 FAX 322-6165
市議会HP <http://www.jcp-kobe.com/>

日本共産党神戸市議員団

検索

非核「神戸方式」の堅持を

昨年3月神戸市は、米国艦船の入港を非核証明書未提出のまま許可をしてしまいました。非核証明書は核兵器の搭載の有無を確認するために必要な手続きです。神戸市は「米国政府が搭載していないと伝えていると外務省から報告を受けているから」という理由で、非核証明書未提出で入港を認めてしまったのです。

アメリカ政府は全国の空港と港湾を軍事利用しようとしています。今後、このようなことを2度と繰り返させてはいけません。神戸市は外国艦船が入港する際には、どの国に対しても例外なく非核証明書を提出させるべきです。

高市政権は非核三原則（「持たず・作らず・持ち込まず」）を見直し、日本を足場にアメリカと一っしょに核攻撃を含む軍事態勢を支える方向に転換しようとしています。唯一の被爆国として揺るがせにすることができない非核三原則。国にこの国是を守らせなければなりません。

非核「神戸方式」は戦争する国づくりに歯止めをかけるとも重要な市会決議です。堅持しなければなりません。



昨年3月 摩耶埠頭に米艦船「ウォーリア」が入港

核兵器積載艦艇の 神戸港入港に関する決議

神戸港は、その入港船舶数及び取扱貨物量からみても、世界の代表的な国際商業貿易港である。

利用するものにとっては使いやすい港、働く人にとっては働きやすい港として発展しつつある神戸港は、同時に市民に親しまれる平和な港でなければならない。

この港に核兵器が持ちこまれることがあるとすれば、港湾機能の阻害はもとより、市民の不安と混乱は想像に難くないものがある。

よって神戸市会は核兵器を搭載した艦艇の神戸港入港を一切拒否するものである。以上、決議する。

1975年3月18日

神戸市会

垂水区のバス路線



神戸市には、市民の足を守る大切な役割があります

「垂水駅まで乗り換えなしで行けるバス路線がほしいです」「近くにあったバス停がなくなり、大変困っています」「通院や買い物に欠かせません。便数を増やしてください」—日本共産党神戸市会議員団には、バス路線の改善の要望が多数寄せられています。

多くの垂水区民にとって、移動にバスは欠かせません。垂水区路線の大部分を山陽バスと共同運行しています。神戸市には、市民の足を守る大切な役割があります。粘り強く要望を重ねていきます。



垂水駅前市民から要望を受ける

赤田かつのり議員が市会・こども家庭局審査で質疑（9月17日）

子どもたちの成長を保障し、 安心・安全な保育環境に



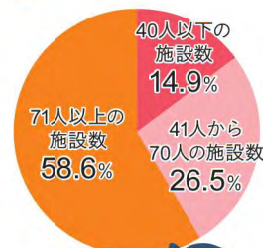
神戸市は「待機児童ゼロ」をPRしていますが、希望先の施設を第4・第5候補まで記入しなかったために入所することができなかったケースは、待機児童数にカウントされません。「保留児童数」は824人もいます（2025年4月1日時点）。

仕方なく、きょうだいを別々の園に入所させているケースも少なくありません。子どもたちの成長と発達を保障し、安心・安全な環境の認可保育所の増設を進めるべきです。

国は保育士の配置基準を一部見直しました。しかし現在の基準では、一人ひとりの子どもの様子をしっかりとつかみ、より良い保育をするには限界があります。赤田議員は現場で働く保育士の声を紹介し、神戸市独自に基準の改善を求めました。

安心・安全な学童保育のさらなる整備を

市内の学童保育施設の 規模別割合（公設）



学童保育は子どもたちが放課後や休みの日の生活の場。安全・安心に過ごせるところでなければなりません。学童保育の拡充は、働く父母の切実な願いです。神戸市は、「待機児童はいない」「すべての希望者を随時受け入れて」います。しかし、児童数がかなり多い学童保育施設ばかりです。神戸市が定めている基準を超越している施設も少なくありません。

垂水区内でも児童数が100人以上の施設数が13施設あります（2025年4月1日時点）。

大規模な施設、基準超過の学童保育施設の速やかな改善が必要です。学童保育コーナーだけでなく、児童館学童の新設を進めるべきです。



うるさく感じませんか？

「夜、うるさくて落ち着きません」「最近、特に頻繁に飛行機が飛んで、音がとても気になります」—神戸空港に国際線が就航しました。大阪湾上空の飛行が活発になっています。ご意見をお寄せください。



五色塚古墳の中にあります

物価高騰で苦しむ 全ての市民・事業者のために 早急に直接支援を

2025年12月25日に神戸市臨時議会がひらかれ、森本眞議員が緊急補正予算に関する議案質疑をおこないました。

質疑項目

1. 物価高騰で苦しむ市民・事業者に速やかに支援するための補正予算の考え方について

今臨時議会で可決された子育て応援手当と小学校給食の無償化の実現は、市民の皆さんとともに取り組んできた運動の成果です。一方で今回国は、長期にわたる物価高騰対策として約110億円の「重点支援地方交付金」の内示をおこない、速やかな実施を依頼していますが、一人あたり約3000円と市民の皆さんの願い

とはほど遠いものです。さらに神戸市は、その110億円のうち23億円（中学校給食半額、児童福祉・介護・障がい者施設への光熱費・食材費支援）しか補正予算に計上していません。森本議員は、市民や事業者の皆さんの苦しい生活が続く中、残りの予算を速やかに活用し、市民生活を支えるべきと質しました。

森本眞議員が 議案質疑



をおこなっている。神戸市もすべきではないか。

今西副市長：強制的にシャットダウンするコロナの時と現在の経済状況とは違う。

森本議員：これまでの「重点支援地方交付金」の使い方を見ると、神戸市は国の交付金の枠内でしか施策をおこなっていない。副市長は以前、設備投資などの支援メニューは大企業向きで中小企業向けではないと言った。長田区では、長田の台所として親しまれた「長田中央市場」や、みんなの冷蔵庫と呼ばれていた「うまいもんいちPOT」が（昨年）閉店した。戦前戦後、

30年前の阪神・淡路大震災や、コロナ禍を乗り越えてきた歴史ある市場や商店街が、長田からどんどん消えている。中小業者の苦難がわかるか。

今西副市長：事業者が困難に直面していることは存じている。事業者の課題は一律ではないから、それぞれの課題に寄り添った支援策を展開していきたい。

森本議員：多くの市民の皆さんが困っている。商売をしている皆さんも物価高騰の中で本当に苦しんでいる。これまでも我が会派が訴えてきた賃上げ支援、中小企業への直接支援を強く願う。

答弁ダイジェスト

森本議員：他都市では子育て応援手当を増額したり、くらし応援給付金として全市民や非課税世帯、65歳以上高齢者に給付を決めている自治体もある。神戸市は何もしないのか。

今西副市長：年内に計上をしない政令市は3割だ。今回可能なものはできる限り計上した。

森本議員：小学校の給食無償化は1月から無償にする自治体も多い。小学校だけでなく中学校も（1月から）無償にすべきではないか。

今西副市長：残りの交付金の使途は、現在の市民や経済状況等々を勘案して検討している。案がまとまれば補正予

算として議会に提案したい。

森本議員：昨年度は交通事業者への支援が入っていたが、なぜおこなわないのか。

小松副市長：国・県の支援では賄えない部分の一時支援金の給付を検討している。

森本議員：規模は大小あるが水道料金の減免が多く自治体でおこなわれている。神戸市は考えているのか。

今西副市長：費用対効果として小さいので、水道料金の減免は考えていない。

森本議員：コロナの時は国が施策を決める前に市独自の中小業者支援をしてきたが、今回は全くない。ある自治体は、病院・介護・障がい者等々の水光熱費補助とともに中小事業者の水光熱費の補助

2月17日より2月議会が開会します

2月17日(火)	本会議（議案質疑）
18日(水)・19日(木)	常任委員会
24日(火)・25日(水)	本会議（代表質疑）
2月26日(木)～3月9日(月)	予算特別委員会局別審査
3月12日(木)	予算特別委員会 総括質疑
16日(月)	予算特別委員会 意見表明・意見決定
18日(水)	本会議
19日(木)・23日(月)	常任委員会
26日(木)	本会議（議案質疑・討論）
27日(金)	本会議（一般質問）

外郭団体特別委員会審査から④

神戸市議会外郭団体に関する特別委員会の審査が2025年11月18日と12月12日・19日にひらかれ、日本共産党神戸市会議員団の赤田かつのり議員と森田たき子議員が外郭団体の運営状況などについて質問しました。

11月18日 建設局

神戸市道路公社

巨額な延伸事業より 交通の円滑化を

——— 赤田かつのり議員

神戸市道路公社は、六甲・六甲北有料道路と西神戸有料道路（山麓バイパス）の管理運営、三宮中央通りや荒田公園、大倉山などの駐車場運営をおこなっています。赤田議員は、新神戸トンネルの延伸事業計画について、巨額な事業費を投じるより、低廉な金額で利用できる安全な道路にすべきと質しました。

答弁ダイジェスト

赤田議員：この事業費はいくらぐらいなのか。

武田副局長：少なくとも1000億以上はかかる見立てだ。

赤田議員：それだけ巨額なお金を投じる必要があるのか。

武田副局長：今後の事業の効果は確認できている。

赤田議員：現在道路の整備状況が著しく立ち後れている状況ではない。強ちに道路整備を推進する必要性を感じない。むしろ公社自身が安全で低廉な料金で利用できる道路にし、交通の円滑化をはかることが必要だ。



その他の質問

● 山麓バイパスの通行台数について

公益財団法人神戸市公園緑化協会

● 王子公園の事業収入について

——— 赤田かつのり議員

● 須磨離宮公園の駐車場整備について

——— 森田たき子議員

建築住宅局

一般財団法人神戸住環境整備公社

● 市営住宅募集案内冊子の配布場所について

——— 赤田かつのり議員

● マンション管理状況の届出と情報開示の義務化と相談業務体制について

——— 森田たき子議員

12月12日 健康局

地方独立行政法人 神戸市民病院機構

患者が安心して療養 できる環境づくりを

——— 森田たき子議員

地方独立行政法人神戸市民病院機構が運営をおこなっている西市民病院とアイセンター病院では、昨年6月から4床部屋を家具で仕切って1日4400円を徴収する「準個室」をつくり、一般病床を削減しました。また、中央市民病院と西神戸医療センターは今検討中だと聞いて、心配の声もあがっています。森田議員は、患者がきちんと療養できるよう経済的負担の押し付けはやめろと質しました。

答弁ダイジェスト

理事兼法人本部長：ニーズに合ったサービスを提供し、一定の負担をいただくことは市民の理解を得ていると思う。

森田議員：私が聞いている声とは違う。実態を把握するべきだ。準個室は入院を躊躇する事に繋がる。機構が責任を持って、患者さんがきちんと療養できるような環境を整えるべきだ。



その他の質問

● 医師の働き方改革について

——— 森田たき子議員

公立大学法人 神戸市看護大学

● 学生に対する支援について

● 教育環境の整備について

——— 森田たき子議員

● 医療事故と経常損益について

——— 赤田かつのり議員

一般財団法人 神戸在宅医療・介護推進財団

● 住宅改修助成事業について

● 認知症初期集中支援事業について

——— 赤田かつのり議員

12月19日 港湾局

株式会社神戸ウォーターフロント開発機構

地元企業を発展させる 事業にすべき

——— 赤田かつのり議員

株式会社神戸ウォーターフロント開発機構は、ポートタワーの管理運営や再開発事業、新港エリアのまちづくり事業をおこなっています。機構は神戸市から委託を受けた委託費の95%相当の業務を民間企業に一括して再委託しており、契約約款で禁じられた「大部分の業務の再委託」だと判断されたことが昨年12月に新

聞報道で明らかになりました。赤田議員は「収入として市民から税金を得ているのだから、地元企業を発展させる事業をおこなうべき」と質しました。

答弁ダイジェスト

和泉港湾局副局長：一括した再委託のどの程度が大部分に当たるのかは明確な基準がない。

赤田議員：誰が見ても大部分を1社に委ねたと判断されても仕方ない問題だ。これまで再委託を受けてきた企業は東京や大阪に本社をおく企業ばかりではないか。

常務取締役：市内にウォーターフロン

トエリア、タワーや博物館のライトアップを手がけている企業がなかった。

赤田議員：ウォーターフロント再整備自体が地元企業へ仕事をつなげる対象にならないプロジェクトばかりだ。地元企業と契約をして繁栄させ、経済活性化につなげるような事業を進めるべきだ。

その他の質問

阪神国際港湾株式会社

● 港湾労働者の安全確保と神戸港の災害対策について

——— 赤田かつのり議員

神戸市2026年度予算について

日本共産党神戸市議員団

久元市政の「公共の責任放棄」「まち壊し」に正面对決 住民運動と共同の力で、暮らしと平和を守り抜く

神戸市議会が2月17日から始まり、久元喜造市長は2026年度神戸市予算案を議会に上程しました。4期目初めての編成予算となる2026年度予算案は、10日公表された2025年度予算(2月補正)877億円と一体編成されたもので、昨年につづき1兆円規模を超える予算となります。

総選挙で絶対多数を占めた自民党政権に追従する久元市長は、新年度予算で、物価高に苦しむ暮らしと営業を直接応援してほしいとの願いに背をむけ、フードシェアなど市民にいっそうの自助・共助を押し付けています。

「住民福祉の機関」としての公の役割を放棄し、市バス路線の減便や国民健康保険料の引き上げ、市民会館利用料の大幅値上げなど、市民サービス後退とまち壊しを押し進めようとしています。賃上げ助成や中小企業への直

接支援に背を向ける一方で、都心三宮・ウォーターフロント再開発をはじめとした大型企業には物価高で工事費が跳ね上がっても聖域化して予算をつぎ込んでいます。

「非核三原則見直し」や「9条改憲」に意欲を燃やす高市政権が強権的な手法で国会の多数を握ったもとで、神戸市政に対して「戦争する国づくり」にしたがう自治体への変質を求める圧力が一層強まることも予想されます。

日本共産党神戸市議員団は、「暮らしを良くしたい」「平和な神戸を守りたい」と願う広範な市民の運動と共同し、国言いなりではなく住民福祉を向上させる地方自治体の本来の役割を発揮して、住民サービスの向上で暮らしを守る予算に抜本的に転換することを求めて全力をつくします。

1 物価高騰対策—極端な「自助・共助」の押し付けで直接支援や賃上げに背を向ける

地方自治体は実情にあわせ「物価高騰の影響を受けた生活者や事業者に対する効果的な支援」を行うために国から110億円の交付をうけ、久元市長は、新年度予算案を2月補正と一体に編成し、物価高騰等の影響を受ける市民・市

内事業者への支援をすすめるとしています。

しかし予算案には、広く市民に行き届く神戸市独自の直接支援はなく、行政区で一か所の年3回程度の食料品無料配布に限られ、大学での期限が迫る備蓄の配布や子ども食

堂、フードロス食品の低額提供やフードシェア、キッチンカーなどのイベントなど極端な「自助・共助」頼みになっています。

経済支援でも、福祉施設・病院・公共交通事業者など一部の団体や体力のある企業に

とどまり、大半の中小業者に対する支援や賃上げを直接応援する施策はありません。他都市で取り組みがひろがっている上下水道など公共料金の引き下げ、子どもの医療費無料化や義務教育のさらなる負担軽減にも背を向けています。

2 公の責任を放棄—バス路線の減便や公共料金の値上げ

市民サービスでは、コールセンターのさらなる一本化や街路樹や公園、学校・保育所の管理の外部委託化などさらなる事務事業の切り捨てや、交通局や水道局での職員削減をすすめています。

市バス路線では、8月実施の須磨区15路線で153本の減便をはじめ合計46路線で439本と全体路線5201本の8.4%

におよぶ運行本数の減便をおこなおうとしています(いずれも一日平日の運行本数)。さらには2027年4月には、北区・ひよどり台・しあわせの村の大幅減便を計画しています。

市営住宅では2030年頃までに7000戸を減らす計画を押し進めています。住民の願いや運動をうけ、一部の団地ではエレベータの設置・改修して

の存続も決まりましたが、大規模な募集停止や転居先の受け皿住宅の確保のために、市営住宅の募集の倍率が下がらず狭き門となっています。

国や兵庫県病院再編の押し付けによって、済生会兵庫県病院の北区長尾町への移転や、若葉会六甲病院の東灘区深江への移転に対して、神戸市は容認する姿勢で、住民や医療関

係者の反対の声に応えず、神戸市は地域医療の存続のための公の責任を放棄しています。

物価高で暮らしが大変な時に、国民健康保険料のさらなる引き上げや、市営や関連団体の駐車場金の料金値上げや、文化施設や体育施設の利用料を15%一気に値上げするなど一層の市民負担増をすすめようとしています。

3 工事費高騰でも大型開発は推進一呼び込み型・大企業の儲け優先で聖域化

大型開発では、都心・三宮再整備で文化ホールの移転整備や市役所2号館ビル建設など232億円、ウォーターフロント地区の再整備で京橋地区の阪神高速の再整備のための船溜まり埋立推進など51億円、大阪湾岸道路西伸部の事業推進で77億円、神戸空港の国際化への対応で33億円など、「果敢な成長戦略による

投資の好循環の創出」などと呼び込み型で大企業のもうけ優先の大型公共事業を推し進め、物価高騰で工事費がはねあがっても聖域化して多額の予算をつぎ込んでいます。

住民や利用者の願いを無視して王子公園の文化施設を休廃止して大学に売却したり、港湾緑地を集客施設に優先利用させるなど、行政が管理し

ていた道路や公園・緑地を「公共空間での民間活力の導入」などと民間の稼ぐ場に変貌させています。その一方、計画が進んでいない身近な公園整備を、どんどん廃止しています。

垂水や名谷・西神中央など駅前再開発ではマンションや商業施設が誘致される一方、郊外ではスーパーや商業店舗

の撤退が相次いでいますが、移動販売車の誘致やコミュニティバスの誘致などで取り繕い必要な手を打とうとします。駅前開発でニュータウンを再生するといいつながら、マンションを誘致しても名谷駅南では少子化に歯止めがかからず、小学校2校と中学校1校を統廃合する義務教育学校化する事態となっています。

4 運動と共同で住民の願いを実現—日本共産党神戸市会議員団

住民運動や議員団の論戦で、小学校給食の無償化（アレルギーや不登校等の理由で給食を停止している児童に月5200円を支給）、中学1年生

の35人学級、フリースクール助成（利用料・半額助成・上限2万円）、夏休み学童保育への昼食提供拡大、「6つのいいね」の対象施設を児童養

護施設等の保育士に拡充、妊婦検診の拡充と5歳児健診、災害備蓄の充実、耐震化助成の拡充、教育委員会に常勤医師の配置などいくつかの施策

が実現しましたが、広範な住民の願いを実現するには、予算案の抜本的な組み替えが求められます。

みなさんとともに願い実現に全力—予算懇談会を開催

日本共産党神戸市会議員団は先般、予算懇談会を開きました。懇談会では、森本真団長のあいさつに続き前田あきら議員が2026年度予算案の特徴などについて報告しました。参加者からは、「済生会兵庫県病院が統合移転したら通えなくなる」「バス路線やバリアフリー化など障がい者にやさしいまちにしてほしい」など様々な意見があがりました。また、「神戸市政に対して声を出して訴えていこう」と運動と要求が出されました。

日本共産党神戸市会議員団は、物価高騰のもとで、市民には「自助・共助」を押し付け、公共空間も予算も呼び込み型の民間開発につぎ込む久元市政に正面から対決し、「住民の命と暮らしを守る」地方自治体として公共の役割を果たす市政へ転換させるために力をつくします。



26年度2月議会・決算特別委員会日程と共産党議員の質問予定

	月	日	曜日	審査 順位	質問予定 時刻	分科会	担当議員
会計室・市長室・ 行財政局	2	26	木	4	13:50	1	松本 のり子
福祉局				5	14:45	2	朝倉 えつ子
企画調整局		27	金	3	12:50	1	森本 真
こども家庭局				1	10:10	3	西 ただす
環境局	3	2	月	4	13:50	2	味口としゆき
港湾局				5	14:45	3	赤田かつのり
交通局		3	火	2	11:00	1	前田 あきら
建設局				3	12:50	2	味口としゆき
都市局		4	水	1	10:10	1	森本 真
経済観光局				4	13:50	3	森田 たき子

	月	日	曜日	審査 順位	質問予定 時刻	分科会	担当議員
水道局		5	木	2	11:00	2	大かわら鈴子
教育委員会				3	12:50	3	西 ただす
地域協働局				5	14:45	1	松本 のり子
危機管理局・ 消防局	3	6	金	1	10:10	2	朝倉 えつ子
建築住宅局				4	13:50	1	前田 あきら
健康局				5	14:45	2	大かわら鈴子 味口としゆき
文化スポーツ局		9	月	2	11:00	3	赤田かつのり
総括質疑		3	12	木	4	13:50	— 前田 あきら

※陳情や請願等の有無によって、質疑時刻が遅れることがあります。予めご了承ください。

ぜひ傍聴にお越しください

赤田かつのり議員と大かわら鈴子議員が代表質疑

日時 2月25日(水) 10時から

場所 市議会本会議場

※議会の進行状況によって大きくずれ込む場合がありますのでご注意ください。

視聴は
こちら
から

